



世界を視野に
地域から始めよう

■教育学部 ■医学部 ■工学部 ■農学部 ■地域資源創成学部



宮崎大学
University of Miyazaki

「世界を視野に 地域から始めよう」

宮崎大学長 鮫島 浩

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5学部と大学院として7研究科を持つ総合大学です。宮崎県のランド・ユニバーシティーとして高等教育の中核を担っています。それぞれの部局は独自に、またお互いに協力・融合して、特色ある教育、研究、人材育成、地域社会貢献を行っています。

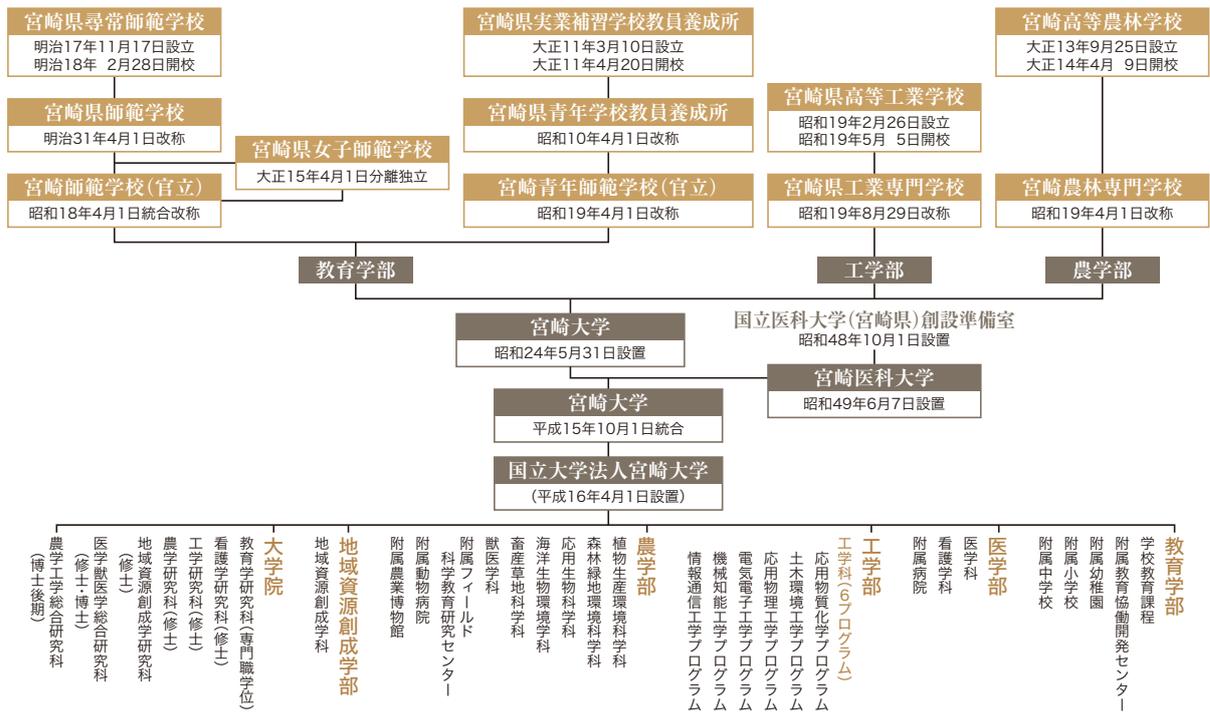
宮崎大学のスローガンは「世界を視野に 地域から始めよう」です。混沌とした社会情勢の中であっても、時代の要請と世界の動きを念頭に置いて世界レベルの教育や研究を行うことは大学に課せられた重要な使命です(グローバル・ビジョン)。同時に、軸足をしっかり地域社会に据えて、身近な地域の問題を着実に解決することも重要です(ローカル・アクト)。地域の問題を限りなくとことん追求することが、実は世界にも通用する重要な問題提起である、あるいは重要な発見に繋がる、ということは多くの先人が認めるところです。宮崎大学が宮崎に存在する意義は、ここにあります。

宮崎大学は地域の産業界、行政、高等教育機関、自治体と良好な連携を築いています。学内には、教育能力の高い教員、素晴らしい研究者、ユニークな人材、特色ある研究施設や充実した教育施設が整っています。キャンパスは南国に立地しており、明るい太陽、鮮やかなグリーン環境、海も川も山も一級品が揃い、持続可能な自然豊かな環境に恵まれています。人間性溢れる教職員と、人情味豊かな宮崎県民とで、この地では着実に豊かな多様性のある人間関係が築かれています。この優れた条件のもとで、学生の主体性を重視した数多くの取り組みに是非、参加していただきたいと思えます。

明るく楽しい宮崎大学で、有意義な学生生活を過ごし、社会に飛び立ってください。「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもと、グローバルな視点を持って、世界や地域で活躍できる人材を輩出しながら、発展し続けている宮崎大学が、皆さんを待っています。



沿革



教育方針 (教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)

■ 教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育 2. 社会性・国際性の教育 3. 専門性の教育

■ ディプロマ・ポリシー〔卒業(修了)認定・学位授与に関する方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

1. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
2. 自ら学修計画を立て、主体的に学ぶことができる。
3. 相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
4. 課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析し、その課題を解決できる。
5. 学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

■ カリキュラム・ポリシー〔教育課程の編成・実施の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部を置き、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

【教育課程の編成】

1. 学生の修得すべき学修成果を重視し、教養教育と専門教育の区分にとらわれず、体系的な学士教育課程を編成する。
2. 基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)、課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)と学士力発展科目を設置する。
3. 専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために、学科・課程専門科目を設置する。
4. 地域を志向した教育・研究・地域貢献を推進するため、学士課程に地域の理解と課題解決に取り組む科目を設置する。
5. 専攻分野を超えて学際的な視点を養う科目を設置する。
6. 獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科目を設置する。

【教育内容・方法】

1. 各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、事前・事後の学習の指示、ディプロマ・ポリシーとの関連を明記し、周知する。
2. 基礎教育カリキュラムの導入科目、課題発見科目において、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施し、初年次から学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるようにする。
3. 専門教育において、知識・理論と実践を融合し、主体的に考える力を養うために、講義、演習、実験、実習、実技などの授業形態に加えて、多様な教育方法を取り入れて指導を行う。
4. 学士課程教育において、地域の理解を深める題材を取り入れ、地域の課題解決を実践できるようにする。

■ アドミッション・ポリシー〔入学者受入・選抜の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

CONTENTS

03	イベントスケジュール
05	部・サークル活動
06	学生支援施設
07	経済支援
08	キャリア支援
09	就職データ
10	宮崎大学の教育
11	教育学部 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻
23	医学部 医学科 看護学科
29	工学部 工学科 応用物質化学プログラム 土木環境工学プログラム 応用物理工学プログラム 電気電子工学プログラム 機械知能工学プログラム 情報通信工学プログラム
43	農学部 植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境科学科 畜産草科学科 獣医科学科
57	地域資源創成学部 地域資源創成科学科
61	大学院
63	OB・OGメッセージ
65	キャンパスマップ

イベントスケジュール

宮崎大学では、年間を通して学生同士がふれあえる行事が充実しています。

大学生のスケジュール



入学式



新歓祭



音楽祭

- 前学期開始
- 入学式
- 新入生・在学生オリエンテーション
- サークル紹介
- 定期健康診断
- 新歓祭

- 前学期末試験
- 教員採用試験(9月まで)
- 宮崎・学生ビジネスコンテスト(10月まで)

- 夏季休業

4月

5月

6月

7月

8月

9月

- オープンキャンパス
- 音楽祭

- 入学者選抜要項 公表(上旬)
- 総合型選抜学生募集要項 公表(上旬)
- グローバル人材育成入試学生募集要項 公表(上旬)

- 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜学生募集要項 公表(中旬)
- 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜学生募集要項 公表(中旬)
- 医学部医学科地域枠学校推薦型選抜学生募集要項 公表(中旬)
- 帰国生徒選抜学生募集要項 公表(中旬)
- 社会人選抜学生募集要項 公表(中旬)
- 私費外国人留学生入試募集要項 公表(中旬)

入学者選抜要項および学生募集要項について

学生募集要項は本学ホームページから電子ファイル(PDF形式)をダウンロードして入手又は参照してください。(印刷した冊子はありません。ただし、医学部医学科(地域枠学校推薦型選抜)学生募集要項及び畜産別科学生募集要項を除く。)また、公表時期は予定であり、変更になる場合がありますので、本学ホームページで確認してください。

高校生向けスケジュール

パソコン・スマホ・ケータイから資料請求

資料名	資料請求番号	料金(送料含)
大学案内	567990	215円
入学者選抜要項	587990	250円
入学者選抜要項・大学案内	568000	250円



<https://telemail.jp>

※ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

資料は発送日の3~5日(地域と郵便事情によっては1週間程度)後に届きます。

※ 料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

お支払い方法

コンビニ支払い、スマホアプリの請求書支払い(LINE Pay、au PAY)、携帯キャリア払い、Pay Pay、クレジットカード払い



テレメールカスタマーセンター

050-8601-0102 (受付時間 9:30~18:00)

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロンページが管理運営しています。

Myaoh.TVの紹介

チャンネル登録は
こちらから！



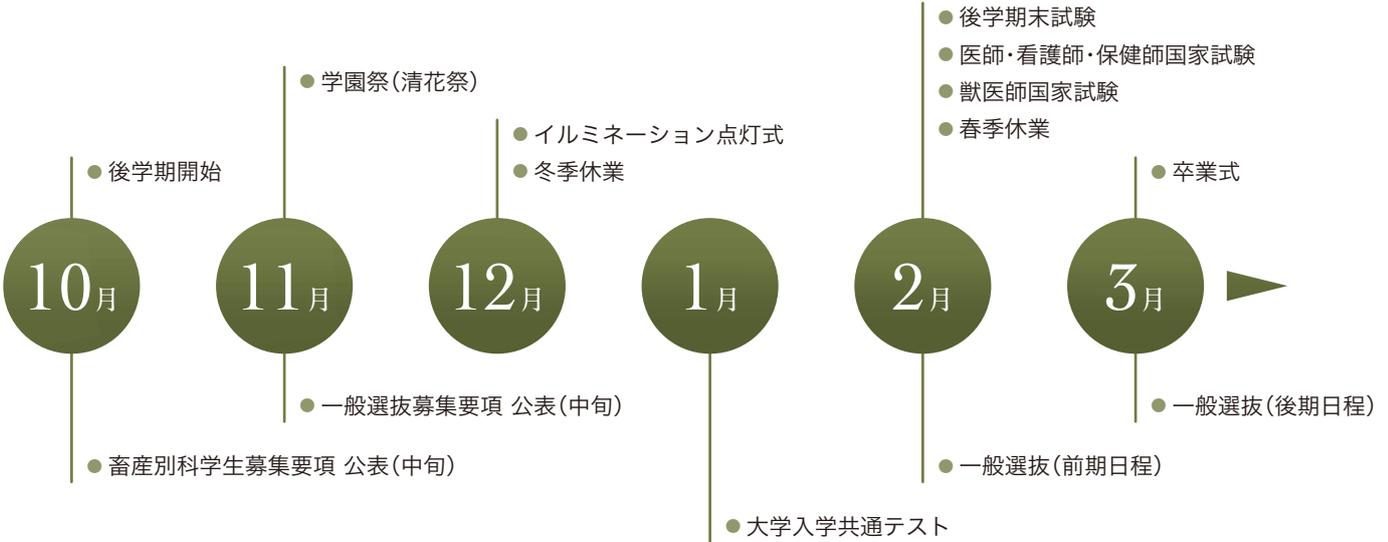
宮崎大学のYouTube公式チャンネル「Myaoh.TV」です。宮崎大学のニュース、イベント情報、各学部の取り組み、学生生活の紹介、身近な健康情報など宮崎大学オリジナルの情報を多数配信しています。



宮崎・学生ビジネスプランコンテスト



イルミネーション点灯式



申込はコチラ！



宮崎大学公開講座



一般選抜



卒業式着物コレクション

配信中の
動画はコチラ！



イベントの紹介



オープンキャンパス

高校生に向けて各学部の紹介や入試説明、模擬講義や模擬実験などを行っています。

学内の施設見学や個人相談も行っておりますので、行きたい学部が決まっていなくてもお気軽にご参加ください。



清花祭

清武キャンパス・木花キャンパス同時開催の学園祭。学生による模擬店や音楽祭など楽しいイベントが目白押し。一般の方も出入り自由となっています。

部・サークル活動

キャンパスライフを充実させる部・サークル活動。スポーツや音楽、ボランティアなどバラエティに富んだ部・サークルが揃っています。

アメリカンフットボール部 BACCHUS

主将 塩川 諄

工学部 情報システム工学科 4年
長崎県 長崎県立大村高校出身

宮崎大学アメリカンフットボール部BACCHUSは、プレーヤー9人、マネージャー5人、トレーナー1人の計15人の週4で活動しています。

アメフトは、楕円形のボールを使って陣地を取り合うスポーツです。様々なポジションがあるので、アメフト未経験者や運動が苦手な人でも必ず活躍でき、部員もほぼ全員が大学から始めた初心者です。

また、休日は部員同士で遊びに行ったりBBQをしたりと、プライベートで仲が良いのも特徴です。新入生に向けた楽しい歓迎イベントもたくさん計画しています！新入部員大募集中です！ラグビー場でお待ちしています！



弾き語りサークル

部長 宇都宮 幸大

工学部 情報通信工学プログラム 3年
宮崎県 宮崎県立延岡高校出身

弾き語りサークルでは、大学内の合宿研修施設や木花公民館で週に1回程度、楽しく活動しています。大学でギターを始めた人が多いですが、経験者もいます。ギターに興味がある方はどなたでも大歓迎です！楽器が弾けるようになったら、きっと一生楽しむことができると思いますよ！一緒に弾いて歌ったり教え合ったりすることによって、練習のモチベーションが上がります。音楽を通じて新しい友達を作ることできます。大学で何か新しいことを始めてみたいと思っている方は、ぜひ一緒にアコースティックギターを弾けるようになりましょう！



CLUB & CIRCLE

部活体育系【33団体】

陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、気球部、ソフトテニス部、バドミントン部、男子ハンドボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、卓球部、座波流武術空手部、剣道部、柔道部、弓道部、水泳部、馬術部、アメリカンフットボール部、ワンダーフォーゲル部、ウィンドサーフィン部、サーフィン部、自動車部、少林拳法部、自転車部、合気道部、スポーツチャンバラ部、硬式庭球部、ソフトボール部、CREW(ダンス)、Daisy Girls(チアダンス)、女子ハンドボール部

部活文化系【17団体】

吹奏楽部、管弦楽団、クラシックギタークラブ、モダンJazz研究部、写真部、茶道部、生物研究部、天文学研究部、無線部、アカペラ部B・O・I、漫画研究部、コンピュータクラブ、軽音部あきかん、びいだま(ボランティア)、アースウォーカーズ(ボランティア)、野外生物生態調査研究部、子どものためのプログラム研究会(PFC)

サークル(同好会) 体育系【13団体】

宮大学生消防隊、TO-DO(球技)、フェニックス(サッカー)、自動二輪部、BALLS(サッカー)、Sunny Side Up(アルティメット)、セント・ジェームス(硬式テニス)、インテグラル(軟式野球)、すまっしゅ(バドミントン)、ダイビングサークルLa Mer、ボルダリングサークル、GOLUCS、スクールアイドル同好会

サークル(同好会) 文化系【20団体】

美術部、wila(野生動物調査)、短歌会、演劇部、TCG同好会、宮大学生献血推進クラブ、FFM(作物生産)、弾き語り、ポケモンサークル、TRPG&ボードゲームサークル、美味倶楽部(料理)、dot cube(プログラミング)、みやちく(竹細工など)、リトル・ティーチャーズ(児童学習支援)、礼法・きものサークル、すずらん、もちすた、地域デザインサークル、procom、スプラトゥーン

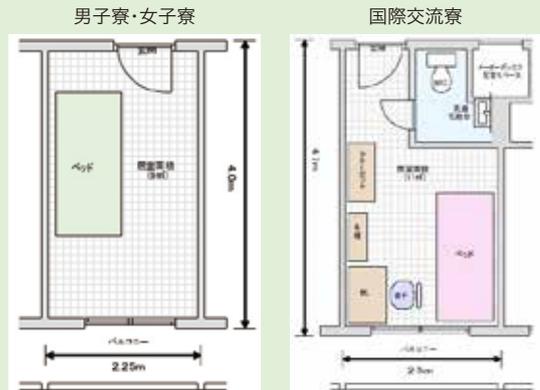
学生支援施設

大学内にはキャンパスライフを支える様々な施設があります。学生一人ひとりが充実した毎日を過ごせるようサポートします。

学生支援施設紹介

学 生 寮			
寄宿舎名	男子寄宿舎	女子寄宿舎	国際交流寄宿舎
収容定員	100人	100人	165人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生、大学院生(男・女)
寄宿料	月額 7,000円		月額 4,700円
居室定員	1人(個室)		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室(自炊可能)、浴室、洗濯室、トイレ(国際交流宿舎は居室に設置)		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

※在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。
※入居許可期間は1年間です(4年間を保証するものではありません)。



大学周辺アパート紹介

地 域	大学からの距離	平均の賃料	賃料の幅
学園木花台	木花キャンパスから1km圏内	36,000円	30,000~58,000円
清 武	清武キャンパスから2km圏内	32,000円	17,000~58,000円
木花・熊野	木花・清武キャンパスから2~3km圏内	30,000円	20,000~35,000円

地域別居住費

全 国	51,100円	宮 崎 大 学	36,000円
-----	---------	---------	---------

(全国大学生協連2022年度調べ)

生活支援施設紹介

安全衛生保健センター

学生の健康管理をサポートするため木花キャンパスに安全衛生保健センター、清武キャンパスに清武分室が設置されています。医師、心理士、保健師、看護師を、分室には保健師を配置し、急病やけがの応急処置及び心身の健康に関する相談に応じています。

- 利用時間: 平日9時~17時



障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障がいや疾病により大学生活を送る上で制限を受ける学生本人からの申し出により、学内外の関係部局等と連携を図りながら、円滑な修学が可能となるよう支援します。まずはお気軽にご相談ください。

場所	時間
安全衛生保健センター1階	月~金(休日は除く) 09:00~17:00
電話	メール
0985-58-7668	s-support@of.miyazaki-u.ac.jp



学習支援施設紹介

附属図書館



学習・教育・研究支援組織として、学生のみなさまの大学での学びをサポートします。木花キャンパスにある本館と清武キャンパスにある医学分館には約50万冊の学術書等を備え、さら



に、電子資料の充実も進めています。両館とも、令和に入って改修をすませたばかりの綺麗な図書館です。静謐な環境の中の集中した学習はもとより、グループで対話・討論しながら学びを深めることができる空間も用意しています。みなさまの利用をお待ちしています。

pick up!



図書館に併設されているカフェでは、販売されているコーヒー等を飲みながらの学習や、談話が可能です。軽食をとることもできます。くつろぎながら勉強したい学生さんに人気です。



受験費用

50,000円～100,000円 ※入学検定料 17,000円、大学入学共通テスト受験料、旅費等の諸経費を含んだ目安費用。

合格後～入学までの準備費用

・各学部の諸経費(講演会、同窓会等)	50,000円～100,000円
・アパート経費	200,000円
・家具、パソコン、電化製品等購入費用	400,000円
・その他(引越、教科書、初回仕送り等)	150,000円
※個人差があります。	

初年度修学費用

・入学金	282,000円
・授業料	267,900円(前期) 267,900円(後期)
★前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、 次年度以降は4月下旬頃	

■ 高等教育の修学支援新制度

対象:住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生(留学生や大学院生は対象外)
 支援内容:入学金・授業料の免除/減額+日本学生支援機構 給付奨学金の支給
 支援額:※世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定

区分	日本学生支援機構給付奨学金(月額)		授業料免除額 (半期)	年間支援額(給付奨学金+授業料免除)		入学金免除額 (新入生のみ)
	自宅通学	自宅外通学		自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	全額免除 267,900円	886,200円 (935,400円)	1,336,200円	全額免除 282,000円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	2/3免除 178,600円	591,200円 (623,600円)	891,200円	2/3免除 188,000円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	1/3免除 89,300円	296,200円 (311,800円)	446,200円	1/3免除 94,000円

※生活保護を受けている生計維持者と同居している人、児童養護施設等から通学する人は()内の金額
 ※高等教育の修学支援新制度と日本学生支援機構の第1種奨学金を併給する場合、第1種奨学金の月額が減額調整されます。

申込み時期:高校3年生の夏頃(予約採用)又は大学進学後の4月(在学採用)
 支援期間:入学年の4月～最短修業年限(初回奨学金振込日は予約採用が5月、在学採用が7月)

■ 日本学生支援機構奨学金

対象:人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる者
 支援額等:

種類	月額	給付・貸与始期 (初回奨学金振込月)	給付・貸与期間
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅通学:2万円、3万円、4万5千円から選択 自宅外通学:2万円、3万円、4万円、5万1千円から選択 ※高等教育の修学支援新制度と併給する場合、第1種奨学金の月額が減額されます (自宅:第Ⅰ区分及び第Ⅱ区分:0円、第Ⅲ区分20,300円) (自宅外:第Ⅰ区分及び第Ⅱ区分:0円、第Ⅲ区分13,800円)	(予約採用)5月 (在学採用)7月	4月分～ 最短修業年限 ※第二種奨学金の(在学採用)については、4～9月の間で希望する月分～最短修業年限
第二種奨学金 (有利子貸与)	2万円～12万円(1万円刻み)から選択	(予約採用)5月 (在学採用)7月以降	
給付奨学金	上記「高等教育の修学支援新制度」を参照		

大学独自の給付型奨学金「夢と希望の道標」

種類	条件	対象学年	金額
成績優秀者奨学金	勉強意欲及び修学環境の向上並びに優秀な人材を輩出するため、学業成績が極めて優秀な学生に対して給付されます。2022年度は日本人学部生54名、私費留学生5名、合計59名の学生に奨学金を支給しました。	学部2年～6年	10万円/1人
TOEIC試験成績優秀者奨学金	給付対象となる者は、本学に在籍する日本人学生又は日本人大学院生のうち、在学中のTOEIC試験又はTOEFL試験の成績が優秀である者が対象であり、年4回に分けて給付しています。2022年度は70名の学生に対して奨学金を支給しました。	全学年	5千円～5万円/ 試験成績による
海外研修奨学金	本学が行う海外研修プログラムに経済的理由により参加が困難な学生に対して給付されます。奨学金の支給額は実施地域に応じて変わります。	全学年	6万円～ 10万円/1人

平成27年度から設けられた本学独自の奨学金制度です。
 ●成績優秀者奨学金(2年～6年生のうち、前学年次の成績が極めて優秀な者):10万円
 ●TOEIC・TOEFL成績優秀者奨学金:TOEICやTOEFL試験の成績が優秀な者:5千円～5万円

その他の奨学金

■ 地方・民間団体の奨学金

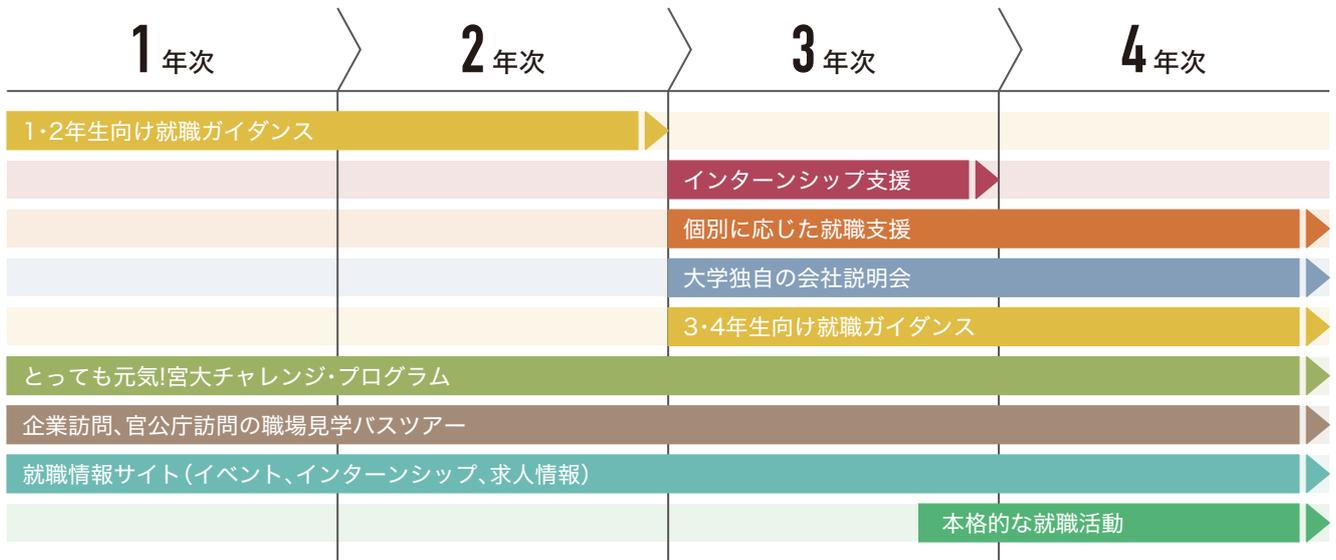
上記以外にも、地方公共団体および民間育英事業団体等の奨学金(給付又は貸与)があります。

キャリア支援

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/job-info/>



学生のキャリア自律を図るため、就職活動の時期だけでなく、在学中から自分の将来を見据えて、大学生活を有意義に過ごすことができるよう、全学生へのキャリア形成支援の取組を実施しています。



①キャリア支援

インターンシップ支援



インターンシップ合同説明会

キャリア支援及び就職に対するミスマッチを防ぐことを目的として、インターンシップの支援を行っており、複数の企業・官公庁によるインターンシップ合同説明会を実施しています。また、本学の学務情報システムで、各企業・官公庁から届いたインターンシップの案内を検索することができます。

とって元気!宮大チャレンジ・プログラム



とって元気!
宮大チャレンジ・プログラム成果発表会

本学独自のキャリア支援として「とって元気!宮大チャレンジ・プログラム」を行っています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画、運営そして実施する能力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、宮崎大学から発信した活性化の波を広くつなげていくことを目的としています。

②就職支援

就職ガイダンス



就職ガイダンス

就職活動に役立つ面接対策やエントリーシートの書き方、自己分析、職務適性テスト、業界研究等のセミナー・ガイダンスを時期に応じて開催しています。学生の皆さんが参加することで、その時期に応じた対応を学び、就職活動を進められるようにしています。

個別に応じた就職支援



個別に応じた就職相談

豊富な経験と専門的な知識を持ったキャリアアドバイザー、ジョブサポーターによる相談体制を設けており、一人ひとりの個性や希望に沿った就職先が見つかるようきめ細かい支援を行っています。また、集団面接やグループディスカッションなど、実践的な実技指導も充実しています。

大学独自の会社説明会



宮崎大学合同会社説明会

企業と連携して学内で、合同会社説明会を開催しています。例年多くの企業の参加があり、学生が直接企業の人事担当者から、話を聴くことができます。この他に、単独会社説明会も随時開催し、より詳しく会社の情報を知ることができます。また、公務員就職希望者のために、公務員説明会も実施しています。

企業訪問、官公庁訪問の職場見学バスツアー

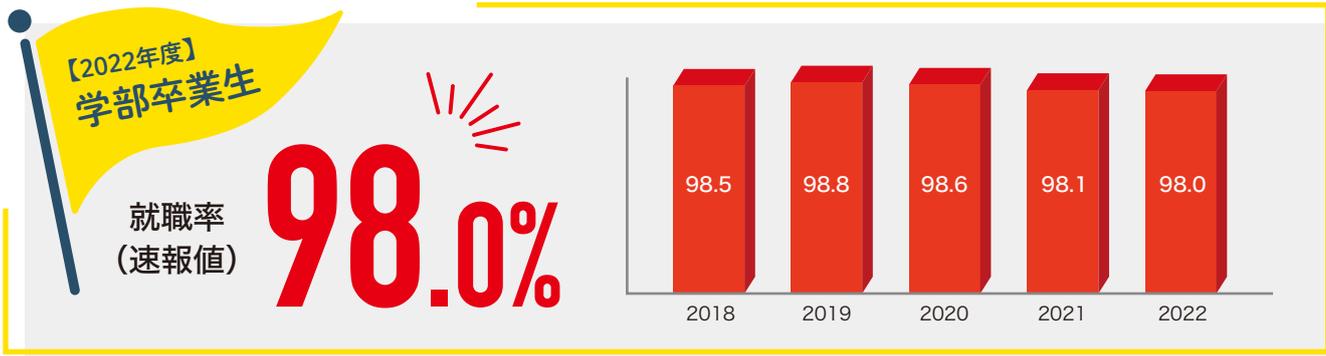


職場見学バスツアー

働く方々の生の声を聞き、学生生活において普段味わうことができない企業の雰囲気や地域・地元企業の魅力に触れ、幅広い業種研究の参考などに役立ててもらうことを目的として、例年夏季休業期間に県内の企業及び官公庁の職場見学バスツアーを行っています。

就職データ

2023年5月1日現在

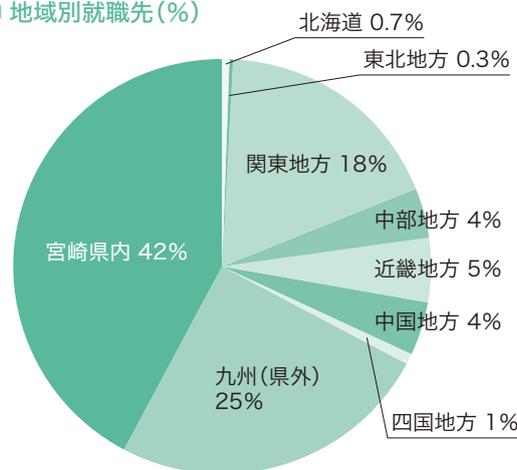


■ 学部別就職率 (%)

	2018	2019	2020	2021	2022
教育学部	97.4	100	99	98.1	100
医学部	100	100	100	100	100
工学部	100	98.2	98.9	98.4	98.1
農学部	97.8	97.8	98	96.5	95.5
地域資源創成学部		100	96.6	97.7	97.5

※地域資源創成学部は、2019年度より卒業生を輩出しています。

■ 地域別就職先 (%)



■ 学部別主な就職先企業・団体 (2022年度卒業生実績)

	県外企業・団体	県内企業・団体	公務員	教員
教育学部	損害保険ジャパン、マーキュリー、アスリートリンク、協同エンジニアリング、LITALICO、メディカル・ケア・サービス	MANGO、カンエイ、コペル、キャン、プラスディー、宮崎大学、コア・クリエイトシステム、デイサービス Good Jobs	大村市役所、日向市役所、宮崎市役所	宮崎県小学校・中学校・高等学校、九州内の小中学校教諭、東京都立青梅総合高校、福岡市立原西小学校
医学部	信州大学医学部附属病院、総合病院国保旭中央病院、自治医科大学附属病院、国立病院機構九州医療センター	宮崎大学医学部附属病院、県内各病院	国家公務員共済組合連合会熊本中央病院	
工学部	東京海上日動システムズ、TOTO、東京エレクトロン、BCC、東芝、富士通、パナソニック、三菱自動車工業、スズキ、ドコモ、京セラ	宮崎銀行、富士フィルムフコケミカル、宮崎県ソフトウェアセンター、フェニックスコンサルタント、MJC、興電社、ニチワ	宮崎県庁、宮崎市役所、外務省、国土交通省、宮崎県警察、鹿児島市役所、大分市役所、長崎市役所、千葉県庁、小林市役所	宮崎日南高等学校、宮崎県立高等学校教員(機械科目担当)、日向高校
農学部	山崎製パン、デリカフーズ、伊藤ハムウエスト、日本ハム惣菜、全国酪農協同組合連合会、日研トータルソーシング、動物病院、ロフト	宮崎県畜産協会、宮崎大学農学部附属科学教育研究センター、MJC、サンホーム、コア・クリエイトシステム、JA日向、宮崎銀行	農林水産省、厚生労働省、宮崎県庁、福岡県庁、宮崎市役所、植物防疫所、熊本県庁、大分県庁、屋久島町役場、延岡市役所	日南学園高等学校、日向高校、福岡県立水産高校、福岡県田川市公立高校、佐賀県立高志館高等学校、朋優学院高等学校
地域資源創成学部	西日本シティ銀行、積水ハウス、イオンモール、大和ハウス、福岡放送、グリーンランドリゾート、マイナビワークス、鹿児島銀行	生活協同組合コープみやざき、山形屋、宮崎放送、宮崎銀行、メモリード宮崎、MANGO、霧島ホールディングス、宮崎エブソン	宮崎県庁、宮崎市役所、綾町役場、新富町役場、大分県庁、都城市役所、名古屋市役所、西都市役所、高鍋町役場、伊佐市役所	

順不同、敬称略

宮崎大学の教育 —宮崎に学び 未来を切り拓く—

宮崎大学はグローバルデザイナーを育成

宮崎大学が掲げる教育のスローガンが「宮崎に学び、未来を切り拓く人材(グローバルデザイナー)の養成」です。宮崎を学びのフィールドとしてさまざまな経験を通じて世界の変化を学び、豊かで活力ある社会の創造に向けてチャレンジする行動力のある人、それがグローバルデザイナーです。

能動的学修(アクティブラーニング)へ転換

学生中心の双方向の授業を実施することによって、学生一人一人が自ら考え、答えのない課題に解を見いだしていく学修(アクティブラーニング)へ転換し、学士課程教育では多くの科目においてアクティブラーニングを実施します。

(注)学士課程教育とは…学部レベルの教育のことをいいます。学士という学位を与える課程(プログラム)を中心とした概念です。

地域活性化人材育成事業～SPARC～による教養教育(STEAM教育)

SPARCは“Supereminent Program for Activating Regional Collaboration”の頭文字を組み合わせた略称であり、地域社会と大学間の連携を通じて新しい価値を創造し、持続可能な地域づくりを牽引する「多様な未来共創人材」育成の教育プログラムです。

教養教育のラインナップ

【導入科目】

大学教育入門セミナー

大学で学ぶための心構え(学問の意義、学修の方法、キャリア形成など)及び基本的な知識・技能を育成します。

情報・データリテラシー

高度情報化社会に対応できる情報処理能力と倫理観を育成します。

英語(外国語コミュニケーションを含む)

「COM(コミュニケーション)」では語彙・文法を重視し、「ESP(特定目的の英語)」では専門教育において必要とされる英語運用能力を育成します。

専門接続系

専門教育及び資格取得において必要とされる知識・技能を育成します。

【未来共創科目】

構想・デザイン系

地域の課題について、オンデマンド型と対面型を組み合わせた授業で多面的に学び、地域の理解を踏まえた構想力を身につけることを目指します。

協働・創造系

課題解決型インターンシップ、アントレプレナーシップ等を通じて、地域社会の中で新しい価値を生み出すために必要な具体的な知識や実践力を身につけることを目指します。

【課題発見科目】

データサイエンス系

情報処理能力の育成とともに、STEAM教育プログラムの主にT、E、Mにあたるプログラミング、ものづくりの分野の着実な履修と学修の定着を図ります。

人文・社会・芸術系

STEAM教育プログラムのAにあたる人文学や社会科学の知見に触れ、学部混成クラスによりアクティブ・ラーニングを導入し、グループディスカッション等を通じて現代社会の課題について理解を深めることを目指します。

自然・生命・技術系

STEAM教育プログラムの主にSにあたる自然・生命・技術系の知見に触れ、学部混成クラスによるアクティブ・ラーニングを導入し、グループディスカッション等を通じてSDGsについて理解を深めることを目指します。

外国語系

専門教育において必要とされる高度な英語運用能力を育成するとともに、英語以外の言語の習得と、言語に関わる文化について理解を深めることを目指します。

健康・スポーツ系

スポーツという文化についての理解を深め、健康の保持と増進や、生涯スポーツの基盤づくりを目指します。

*STEAM教育プログラムのSTEAMはScience, Technology, Engineering, Art (Liberal Arts), Mathematicsの頭文字です。課題発見科目の各系を横断的に学ぶことによって、文理融合型の教養教育を実現します。

数理・データサイエンス・AI教育の充実

本学では、2019年度～2021年度において、大学の数理・データサイエンス教育の全国展開における協力校として取り組みを進め、Society5.0で求められる数理的思考力を身に付けた人材の育成を図るため、情報・データリテラシーや学士力発展科目などに動画コンテンツ教材や演習を導入し、文・理を問わないリテラシーレベルでの数理・データサイエンス・AI教育を充実させる教育プログラムを全学的に進めています。

そして、2022年8月には文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度(MDASH)におけるリテラシーレベルの認定とリテラシープラスの選定を受け、特色ある優れたデータサイエンス・AI教育プログラムを提供しています。



地域活性化人材育成事業 ～SPARC～計画

〈令和6年度 新・基礎教育(教養教育)【STEAM教育】スタート〉

新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する「多様な未来共創人材」の育成プログラム

宮崎大学、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学の4大学と自治体及び産業界等の地域社会と連携することで、農林水産業、フードビジネス、DX・AIビジネス、地域医療、地域獣医師医療、地域教育等、多様な分野において持続可能な地域を支える「未来共創人材」を育成することを目的としています。

教育学部 目指そう!! 未来のスクールリーダー

Faculty of Education

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学選抜を行います。



教育学部は、学校の教員を目指す学部です。

1. 現代のニーズに対応
2. 進路のサポートが充実
3. 多様な入試

この3つの魅力で、「魅力的な教員」を養成します。



教育学部長
藤井良宜

教育学部は、平成28年に教育文化学部から名称を変更して、教員養成を中心とした学部にもどりまし。現在は、小学校教育を中心に据えながら、それだけではなく学生の志望に応じて中学校教育や特別支援教育などにも対応できる人材の育成を行っています。本学部の特徴は、地域や地域の教育委員会と連携しながら教育を行っている点にあります。小規模校の教育やキャリア教育などの地域の課題や特別な支援を必要とする児童・生徒への対応や教育におけるICTの活用などの現代的な課題に対して、専門の異なる教員がチームを組んで研究を行っていますし、学生たちも地域に出かけ、地域の人々や子どもたちと触れ合いながら多くのことを吸収しています。

将来学校の先生になろうと思っている皆さん、私たちと一緒に、地域で学び、地域で活躍する教員を目指しませんか。

■教育学部 各コース

学校教育課程 小中一貫教育コース

小・中の9年間を視野に入れた教育実践力をもち、児童期・青年期の発達をふまえた教材・教具、教育方法の工夫ができる高い授業力を備えた教員を養成します。

■小学校主免専攻

主に小学校教育を基盤として、中学校も視野に入れた教育実践力を育成。

P13

■中学校主免専攻

主に中学校教育を基盤として、各教科の専門的知識・技能に基づく教科指導力と教育実践力を育成。

P15

学校教育課程 教職実践基礎コース

現代の教育課題に対応するための教育の諸理論と実践力を兼ね備え、地域に根ざす学校づくりの中心となる教員を養成します。

P17

学校教育課程 発達支援教育コース

幼児期から児童・青年期までの発達上の特徴や障がいのある子どもの特性をふまえた深い子ども理解ができ、一人ひとりの子どもの教育的ニーズにあわせた指導・支援ができる教員を養成します。

■子ども理解専攻

子どもの生活を支えるカウンセリングマインドと技能、心の問題を予防し対処する能力を育成。
幼稚園、認定こども園と小学校との連携、家庭との協働を実現するコミュニケーション能力を育成。

P19

■特別支援教育専攻

障がいのある子どもの実態や教育的ニーズを的確に把握して、指導・支援できる力を養い、地域の特別支援教育を支える高い専門性を有する教員を育成。

P21



■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実に備え、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。

なお、学校教育課程のすべてのコースにおいて、大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等の学力や能力は次のとおりです。

まず、「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」の基礎的な内容を習得していることが望まれます。さらに、教科全般にわたる基礎学力が求められます。

そして、教職についての関心と意欲、知的好奇心や行動力、他者とのコミュニケーション能力を培っておくことが望まれます。

■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実にそなえ、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。したがって、本学部の各コース・専攻ではそれぞれ以下のような能力を、卒業要件として考えています。

小中一貫教育コース

- 小学校・中学校・小中一貫校の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校・中学校・小中一貫校の教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 児童・生徒の実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 小学校・中学校・小中一貫校の教育課程や指導法に関する知識及び技能を児童・生徒の実態に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

教職実践基礎コース

- 学校教育制度の社会的役割を理解し、学校教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できるとともに、社会の一員として適切に行動できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、学校教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 教育方法及び学習理論、学校・学級経営等に関する専門的知識・技能に基づき、生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 授業実践の基礎となる教育方法、学習方法、教育課程編成の原理や歴史的遺産を踏まえて自他の教育実践を省察し、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校教育の成り立ちや現代の学校が直面しているさまざまな教育課題を明確に理解し、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 教育課程・学習開発、指導法に関する知識及び技能を、一人一人の幼児・児童・生徒の成長や個性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

■施設紹介



附属教育協働開発センター



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



特別支援学級

発達支援教育コース

<子ども理解専攻>

- 小学校、幼稚園・認定こども園の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校、幼稚園・認定こども園の教員に必要な教育的愛情を持って幼児・児童に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、心理・行動的問題を示す幼児・児童とのコミュニケーションを図り、幼児・児童の実態を理解することができる。
- 幼児・児童のメンタルヘルスの状態に配慮して、問題の予防・対処に必要な生徒指導、教育相談及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 小学校の各教科等の内容及び幼稚園・認定こども園の保育内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 幼児児童の成長やメンタルヘルスの状態に配慮しながら、小学校・幼稚園・認定こども園の教育課程や指導法に関する知識及び技能を授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

<特別支援教育専攻>

- 特別支援教育に携わる教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、特別支援教育に携わる教員に必要な教育的愛情を持って子どもに接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の障害特性を理解し、特別な教育的支援を必要とする子どもの実態を把握することができる。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもの実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 特別支援学校や小学校における自他の教育実践を省察することで、自己の学習課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育及び特別支援教育の基礎的諸理論に基づき、知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の子どもが抱えているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 特別支援学校の教育課程や知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等に対する指導法に関する知識及び技能を一人ひとりの子どもの発達や障害特性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

小中一貫教育コース〔小学校主免専攻〕



Unified Elementary and Junior High School Education Course Elementary School Major

学 校教育の入り口となる初等教育は、次世代を担う子どもたちを育む意味でたいへん重要です。本専攻は小学校教員としての基本的な資質を高め、同時に10の専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)からなる得意分野を併せ持つ専門性の高い小学校教員を養成します。

小中一貫教育を学べるのが魅力 9年間を見通した学びができる



学校教育課程 小中一貫教育コース
小学校主免専攻 4年

吉永萌香 Honoka Yoshinaga
鹿児島県 川内高校出身

幼い頃、一人一人の思いを大切にしながら接する父の姿を目の当たりにし、小学校教師へのあこがれを抱きました。

小学校で学んだ主体的・対話的で深い学びを、中学校へどのようにつなげていくかが大切だと感じます。

本学は、小学校及び、中学校の免許取得だけでなく、小中一貫校にも対応できる力を身に付けることができる魅力があります。また、4回の教育実習を通して、座学で得た知識を活かしながら、実践力を高めることもできます。将来は、子ども一人一人に寄り添い、「できた」「分かった」の声があふれる小学校教師を目指したいです。

小中一貫教育コース 小学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題) 学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
小学校教育専門科目	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	
【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)		
【教育実践に関する科目】	● 教育実習 I	● 教育実習 II ● 教育実習 III ● 教育実習基礎研究(幼小)		
			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 小主免では、小学校教諭一種免許とあわせて専修とした1教科の中学校教諭二種免許を取得します。中主免では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。	
			Pick up 教育実習 実習Iでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習IIは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習IIIでは異学校種の実習。実習IVではそれぞれ県内の小・中学校に行き、応用的な教育実習を行います。	
			● 教育実習IV ● 教職実践演習(幼小中高)	

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。そのために、小学校主専攻では小学校教諭一種、中学校教諭二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10の教科の中から1つ)の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人



小中一貫教育コース 小学校主専攻(国語)
准教授 中野登志美 Toshimi Nakano

小中一貫教育を通して 専門性の高い小学校教員に。

小学校主専攻では、みなさんが教壇に立って指導することができるように、全教科に対応した学習と指導法を学ぶだけでなく、小主専攻であっても10教科の中から1つを専修し、その教科の専門的な知識を学びます。宮崎大学では小学校教員に求められる資質能力を養うための学修が整備されています。小学校と中学校の系統的な学びができる点は大きな魅力の一つです。私が担当する国語の授業では、理論を土台とした指導法や授業を構想して模擬授業を行い、実践力を身に付けます。さらに教材を分析して、その教材に適した指導法を導き出します。物語や小説を学術的な観点から分析するのは面白いですよ。一緒に楽しくて実りのある授業を作りましょう。



ココに
注目!

4つの実習でたくましく

小中一貫教育コースには、小学校・中学校の教員になるためだけではなく、小中一貫校の教員になることを見据えた授業科目が数多く用意されています。その1つが4種類の教育実習で、学修の大きな柱となっています。教育学部には、附属施設として附属学校園(附属幼稚園・附属小学校・附属中学校)があります。その中の、附属小学校と附属中学校で実習Ⅰ～Ⅲが行われます。

実習Ⅰでは授業はもちろんのこと、学校全体について観察します。実習Ⅱでは授業方法や学校生活全般に関することを学びながら、実際に子供たちの前に立って授業をします。その後、異学校種の実習として実習Ⅲが行われます。小学校主専攻の学

生は附属中学校で、中学校主専攻の学生は附属小学校で実習を行い、小中一貫教育を見通した考え方を身につけます。

4年生になると、県内の公立小・中学校で、より実践的な応用力を育む実習Ⅳが行われます。教育実習をとおして子供たちと触れあい、現職の先生方の姿に多くのことを学び、教員を目指す自分を見つめていきます。小学校・中学校教員への夢に向かって成長する学生たちを充実の4つの実習が支えています。



卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、
高等学校教諭、特別支援学校教諭、
幼稚園教諭、保育士、県職員、
市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

小中一貫教育コース〔中学校主免専攻〕



Unified Elementary and Junior High School Education Course Junior High School Major

見 童期から青年期にかけての発達過程はたいへん多感な時期にあたり、その人の将来に大きな影響を与えます。本専攻はこうした発達過程を幅広い視野を持って見通す能力と、9専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語)から1教科を専修として高い専門性を併せ持った教員を養成します。

自分が好きなスポーツで子どもたちと地域を盛り上げたい



学校教育課程 小中一貫教育コース
中学校主免専攻 4年

木下香乃 Kano Kishita
宮崎県 宮崎北高校出身

宮崎とスポーツが大好きです。自分が好きなことで子どもたちと一緒に大好きな故郷を盛り上げられたらと本学を志望しました。将来、宮崎で就職することを見据えると、地元の教育や状況も学べる本学がベストだと思いました。

私は中学校主免専攻ですが、小学校主免専攻の学生と一緒に学んで、小学校、中学校2種類の免許が取得できるのが最大の魅力。少人数制のため、同級生ともすぐに仲を深められるのも良い点です。

スポーツが大好きだからこそ、スポーツキャンプなどが充実している宮崎の環境の良さを実感しています。プロ野球キャンプにアルバイトなどでも関われるのは宮崎ならではの経験です。将来は、中学校で保健体育を教える、子どもたちに運動を好きになってもらいたいです。



小中一貫教育コース 中学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			Pick up
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	卒業とともに2種類の免許取得
	小中一貫教育コース(国語科) 専門科目			中学校主免専攻では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。
	【教科に関する専門的事項】 ● 国語学Ⅰ～Ⅱ、国文学講義Ⅰ～Ⅱ、国文学演習Ⅰ～Ⅱ、国文学史Ⅰ、書写技法	● 国語学演習Ⅰ、国文学演習Ⅲ、国文学史Ⅱ～Ⅲ、漢文学Ⅰ、国語科教育法基礎、国語科教育実践研究	【各教科の指導法】 ● 漢文学演習Ⅰ、書式技法、中等国語科教育Ⅰ～Ⅲ、小中一貫授業研究(国語)	
小学校教育専門科目	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	Pick up 教育実習
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	実習Ⅰでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習Ⅱは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習Ⅲでは異学校種の実習を行います。実習Ⅳでは県内の公立中学校で応用的な教育実習を行います。
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習Ⅰ	● 教育実習Ⅱ ● 教育実習Ⅲ ● 教育実習基礎研究(中高)	● 教育実習Ⅳ ● 教職実践演習(幼小中高)

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語の9の教科の中から1つ)、小学校教諭二種の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

教科の専門性を高めながら 教師力を磨く。

本専攻は、教科の専門知識と実践的指導力を有し、小学校教育にも対応できる教員の養成を目的としています。学生は、自ら選択した1教科を専攻としてその専門性を高めながら、教育学の諸分野について学ぶ教職専門科目や、異学校種実習を含む計7週間の教育実習などを通して、教師力を磨いていきます。

音楽専攻の場合、音楽科教育、ピアノ、声楽、指揮・作曲の専門教員によるきめ細やかな指導と、専攻や学年の枠を越えて協働する学生主体の演奏会を経験しながら、コミュニケーション力を備えた即戦力となる人材へと成長し、教育現場に巣立っていきます。

皆さんが目指す教員への道を、同じ志を持つ仲間と歩みましょう。そのための好環境が、ここには用意されています。



小中一貫教育コース 中学校主免専攻(音楽)
教授 藤本いく代 Ikuyo Fujimoto



卒業とともに 2種類の免許状取得

小中一貫コースでは、小学校・中学校の教員になるためだけでなく、小中一貫校の教員にもなれるように、授業科目が数多く用意されています。教育学部には、高校までに習った国語や数学などの「教科専門」の授業科目の他にも、教育学や教育心理学、そして各教科の指導法について学ぶ「教職専門」という授業科目もあります。その中で、「小中一貫教育の理論と実践」や初等・中等別に各教科の「教育法」、さらには今後小学校教員に必要な外国語活動の指導力を育成する特色ある科目が設けられています。

中学校主免専攻では、専攻とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。小学校主免専攻では、小学校教諭一種免許とあわせて専攻とした1教科の中学校

教諭二種免許を取得します。

こうしたカリキュラムによって、教科に関する強みを持った教員、さらに9年間の見通しの中で児童・生徒の成長を支えられる教員が養成されます。卒業要件単位内で2種類の免許が取得できるので、今後、需要が期待される小中一貫校の教員としても対応でき、進路の幅が広がります。



卒業後の主な進路

中学校教諭、小学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、県職員、市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 中学校教諭一種普通免許状(専修教科)^{※1}
- 小学校教諭二種普通免許状^{※1}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭二種普通免許状(専修以外の教科)^{※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。 ※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※2^{*} 履修モデルにより卒業時に取得できる免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

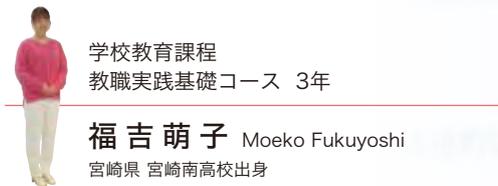
教職実践基礎コース

Teaching Profession Practice Basic Course



グローバル化や少子高齢化、情報化などを背景に、現代社会はめまぐるしい変化の中にあります。そのような社会を生き抜く力を次世代の子どもたちに身につけさせるため、学校教員に求められる資質・能力も多様化・高度化しています。本コースでは、小学校教員としての基本的な資質・能力とともに、今後の社会で必要とされる問題解決能力や批判的思考力、他者と協働する力などを兼ね備えた教育実践力の高い教員を養成します。

大学院まで見据えた 6年間前提のカリキュラムが良い



学校教育課程
教職実践基礎コース 3年

福吉 萌子 Moeko Fukuyoshi
宮城県 宮崎南高校出身

もともと教職大学院への進学まで見据えていました。だからこそ院まで入れた6年間を考えた本コースが良いなと思いました。少人数制のうえ、先生の数が多いため、指導が手厚いです。また、先生方の専門が、教育社会学や教育方法学、教育行政学などさまざま。教育について、多方面の視座で話が聞けます。同じ志を持つ仲間を持てるのはもちろん、仲間同士でいじめ問題など教育課題について、ディベートをする機会も多く、自分以外の意見を聞けるのも貴重な時間です。休日は子どもに関わるボランティアに参加しています。座学で学んだことを活かしますし、子どもと触れ合うことで気づくことも多いです。高い専門性を身につけて、信頼される教師になりたいです。



教職実践基礎コース 教職実践基礎専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			Pick up 高い専門性を持った教員の養成 学校現場で起こる様々な問題に対して、教育学の理論をベースに、主体的・積極的に取り組んでいける高い専門性を持った教員の養成を行っています。
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題) 学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	教職実践基礎コース 専門科目			
	● 現代の教育課題と学校	● 教育社会学 ● 情報メディア活用と情報教育 ● 学校と教員の歴史 ● 教育方法学	● 学校制度論	● 学校・学級経営論 ● 教育課程・学習開発論 ● 道徳授業論
小学校教育専門科目	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)	● 小中一貫教育の理論と実践 ● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	Pick up 先進的な6年一貫教育の実施 大学4年間、教職大学院(2年)への進学を見据えたカリキュラムとなっています。
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習 I	● 教育実習 II ● 教育実習 III ● 教育実習基礎研究(幼小)	
			● 教育実習 IV ● 教職実践演習(幼小中高) ● 卒業論文	

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

教職実践基礎コースは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に対応できる教員の養成を目指しています。そのため、教育の基礎理論、教育課程及び指導法について、教職大学院までの6年間を見通した学修を進めます。本コースでは卒業要件として小学校教諭の一種免許を取得します。また、努力次第で他の学校種(幼稚園もしくは中学校)の免許も取得できます。したがって本コースでは、教育に対する高い関心があり、教職を目指す次のような人を求めています。



幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能を有し、これらを教育実践に活用しようとする意欲を持っている人

幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす意欲のある人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲を持っている人

教育現場に立ち現れる 課題に挑む教員になる。

不登校・いじめ・貧困問題、さらには感染症対策と教育現場には、さまざまな課題が立ち現れています。本コースは、これらの課題に対応できる実践力を身に付けます。具体的には、教育哲学や教育史を学び長期的視野を身に付ける一方で、学級づくりや情報メディア活用を学ぶことで、即対応可能な知識やスキルを身につけます。私の専門の教育制度に関する授業では、教育現場で求められる規範や合理的思考を身につけます。また、宮崎県教育委員会や各市町村教育委員会と連携した、教育現場でのフィールドワークも充実しています。本コースは、教職大学院への進学を前提とした、6年間を見通したカリキュラム編成です。教育現場の課題に果敢に挑みたい方は、本コースで学んでみてはいかがでしょうか。



教育実践基礎コース
准教授 湯田 拓史 Hirofumi Yuda



ココに
注目!

教職大学院とのつよい連携

本コースでは、高い教育実践力と専門的知識をもった教員を養成するために、大学院での2年間を合わせた6年間を見通したカリキュラムが作られています。学部での4年間では、教員免許状取得に関わる教科教育に関する科目、教育学や心理学、教育実習などの教職科目を履修します。これに加え、本コースでは、教育の歴史や学校制度など、幅広い視

点から学校教育を学ぶ授業が用意されています。また、教育方法に関しても、情報メディアの活用やクラスの間関係づくり、新しくなった「特別の教科 道徳」など、実践的に、より詳しく学べるようになっていきます。これらの内容のほとんどは、教職大学院で授業を担当する教員によって行われ、教職大学院での専門性の高い学習につながっています。教育現場でのフィールドワークや様々なアクティブ・ラーニングを通じた学習も行い、教員としての資質を多面的に高めていきます。

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、
大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔子ども理解専攻〕

Developmental Support Education Course Understanding Children Major



心 理学の理論と知識を活用して、子どもの学校生活を支える教員を育成します。
科学的・実証的な心理学のアイデアを使って、子どものメンタルヘルス、学業の向上を図ります。

学校教育課程 発達支援教育コース
子ども理解専攻 3年

椎葉陽菜 Hinano Shiiba
宮崎県 延岡高校出身



子どもの心理を理解して声掛け 実践しながら学びを深められる



子ども理解専攻 3年

大井 昴 Subaru Ooi
福岡県 鞍手高校出身

子どもの不安や心配ごとに寄り添える先生になりたいと思ったという大井さん。椎葉さんも子どもの心理を学ぶことで、理想とする先生になれると思ったからこそ本専攻を志望したといいます。ここでは講師陣が優しく、何気ないときにも声を掛けてくれ、意見を言う際にも否定せずに受け止めてくれるのが良いのだそう。また、子どもの成長を心理学の面からみる授業や、正しい声掛けの仕方などを学べるのも魅力の一つ。伝え方などはロールプレイなどで経験しながら学習し、学んだことを実習でも実践。体験して正しさを実感することができるので、学びが深まるともいいます。本学は、地元就職するのに役に立つイベントやプログラムも多く、サポート体制も万全です。



発達支援教育コース 子ども理解専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	発達支援教育コース 子ども理解専攻 専門科目			
	● 発達心理学	● 学校教育の臨床心理学	● 教育心理学研究法Ⅰ～Ⅱ	
	幼稚園の教員免許取得のための専門科目			
	● 幼児と言葉 ● 幼児と表現 ● 保育内容総論	● 幼児と健康 ● 幼児と環境 ● 幼児の理解と教育相談 ● 幼稚園観察実習	● 幼児と人間関係 ● 保育内容の指導法	● 幼稚園教育実習
	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語	● 社会、算数、理科、生活、音楽、図工、体育、家庭、小学校英語	● 初等理科実験A、B ● 各教科の指導法	
小学校教育専門科目	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)	● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)		
	【教育実践に関する科目】	● 教育実習Ⅰ ● 幼稚園観察実習	● 教育実習Ⅱ ● 教育実習基礎研究(幼小)	
			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 子ども理解専攻では、小学校教諭一種免許及び幼稚園教諭一種免許を取得します。	
			Pick up 心理学に特化し、子どもの心理を理解 心理学の知見を学び、それを教育現場で活用することのできる教員を育成することを目標としています。	

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。本専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指すような人を求めています。



幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性、さらに学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力を身に付けるための努力を怠らない人



発達支援教育コース子ども理解専攻
准教授 尾之上高哉 Takaya Onoue

科学的に有効性が検証されている 教育方法を学び、子ども達を育てる。

— 専攻の特色 —

本専攻の教員は、教育現場や家庭で生じている諸問題を改善することを目標に、実証的な研究に取り組んでいます。研究のテーマは、いじめ、不登校、社会的スキル、メンタルヘルス、モチベーション、学習(練習)法、教師や親の教育スキル向上、など多岐に渡ります。私たち教員は、皆さんが、科学的に有効性が検証されている教育方法を理解し、実践の場で活かせるよう支援します。

— 私の研究内容 —

「ほめる」「励ます」「批評する」「動機づける」「学習(練習)環境をつくる」…どれも、子どもを育てる立場になれば、日常的な営みです。あなたはどのような方法で子どもと向き合いますか？研究の結果は、その方法が少し変わるだけで、その後の子どもの「心の持ち方」、「意欲や行動」、「学習(練習)の効果」、が変わる可能性を示しています。それらの知見を参照しながら、子どものより良い成長を促す教育方法の研究を行っています。



ココに
注目!

国内でも希少な教育現場における心理学研究が盛ん

本専攻では、心理学を学び、それを応用した教育・研究が行われています。テーマは幼児・児童・生徒のメンタルヘルスの向上です。本専攻の教員は、このテーマのもとで、幼稚園・小学校・中学校の先生方と豊富な共同研究の実績をもっています。たとえば、子どもが主体的に学ぶ授業を作る、子どものストレスを改善

予防するストレスマネジメント教育、幼児・児童・生徒の対人関係を育てるソーシャルスキル教育、子どもの不安や抑うつに対する予防プログラムなどがすでに幼稚園・小学校・中学校などの教育現場で実践されています。こうした実践活動には学生も積極的に参加し、授業で学んだ子ども理解に関する専門的内容を実践の場で生かすことができるようになっています。学生の中から現職教員と共同研究を通して身近に交流できる機会が用意されていること、これは教員をめざす学生にとって大きな魅力になるはずです。

卒業後の主な進路

小学校教諭、幼稚園教諭、
認定こども園職員、県職員、
市町村職員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※1}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔特別支援教育専攻〕

Developmental Support Education Course Special Needs Education Major



知 的障がいや肢体不自由、病弱、発達障がいのある児童・生徒が抱える課題や困難に対する指導・支援に必要な知識や技能などの専門性を身につける学修を通して、障がいのある児童・生徒の心身の発達を指導・支援によって促し、将来の自立や社会参加を実現できる特別支援学校の教員を養成します。

学生間の密なつながりを生かし ボランティアなどを通して実践力を磨く



特別支援教育専攻 4年

松田美咲 Misaki Matsuda
宮城県 都城西高校出身



学校教育課程 発達支援教育コース
特別支援教育専攻 4年

吉村まどか Madoka Yoshimura
宮城県 宮崎西高校出身



特別支援教育に関心があり、自身が深めたい学びがある本学を志望した吉村さん。一方、松田さんは宮崎県の教員になりたいからこそ、教育現場の現状などが分かり、特別支援学校の先生を目指せるこの専攻を選んだといいます。この専攻は、ボランティアの募集が多く、その経験を通して学びを実践につなげることができるそうです。また、少人数だからこそ、縦横のつながりが強く、上下の人間関係の築き方や横のチームワークを深められることもここならではの。先生方の講義は、事例や実体験を交えて具体的に教えてくれるので分かりやすいです。この専攻の魅力は、知識を身に付けて基礎力を固めたうえで、実践力を磨く学びの環境が整っていることです。

発達支援教育コース 特別支援教育専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション、保健体育) 専門基礎(教職入門、特別支援教育入門、教職キャリア教育)			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
発達支援教育コース 特別支援教育専攻 専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学校教育課程共通			
	● 介護体験	● 教育フィールド体験	● 人権同和教育	
	小学校教育専門科目			
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	特別支援学校の教員免許取得のための専門科目			
	【発達支援教育コース科目】 ● 子どもの発達と教育支援			
	【特別支援教育に関する科目】 ● 障害児教育学総論 ● 知的障害者の心理・生理・病理 ● 障害児教育課程	● 肢体不自由者の心理・生理・病理 ● 病弱者の心理・生理・病理 ● 障害児アセスメント ● 肢体不自由児教育 ● 発達障害教育総論 ● 視覚障害教育総論 ● 聴覚障害教育総論 ● 特別支援基礎実践 I	● 知的障害児教育 ● 病弱児教育 ● 特別支援学級経営 ● 障害児指導法(前期) ● 障害児指導法(後期) ● 重複障害児教育 ● 特別支援基礎実践 II	● 特別支援学校教育実習
				<p>Pick up</p> <p>卒業とともに2種類の免許取得 特別支援教育専攻では、小学校教諭一種免許及び特別支援学校教諭一種免許を取得します。</p>
				<p>Pick up</p> <p>「アクティブ・ラーニング」で学びの本質に迫る 特別支援教育の知識をしっかりと身につけることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって実践力を磨く「学びの環境」があります。</p>

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

特別支援教育専攻では、障がいのある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障がいに基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度および習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。したがって、本専攻では特別支援教育への関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性を持つ人

学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心を有している人



発達支援教育コース特別支援教育専攻
准教授 半田 健 Ken Handa

特別支援学校の教師を 本気で目指す

特別支援学校には、障がいのある子どもの学びや生活の充実に向けて、障がいの状態に応じて指導を行い、障がいによる困難に寄り添える教師が求められています。

本専攻では、そのような教師に必要な「専門性」と「人間性」を身に付けることができます。カリキュラムは、特別支援教育の歴史や概念から、障がいのある子どもの心理・生理・病理をはじめ、指導法、教育課程、学級・学校経営まで詳しく取り上げます。また、学修の過程は実践的で、ディスカッションや演習、実習を効果的に取り入れています。加えて、本学には、宮崎県で唯一、大学院に特別支援教育のコースがあり、学部での学びを一層深めることができます。

特別支援学校の教師を本気で目指す皆さんの入学をお待ちしています。



ココに
注目!

「アクティブ・ラーニング」で 学びの本質に迫る

特別支援教育専攻では、特別支援教育の知識をしっかりと身につけることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって実践力を磨く「学びの環境」があります。例えば、「障がいのある当事者やその支援者」と共に、宮崎の特別支援教育に関する現状と課題を考え、課題解決に向けて取り組む授業を展開しています。また、発達障がいのある子どもとその保護者を対象とする教育プログラム「チャレンジ教室」には、学生もプログラムの計画や実践に参加しています。初めは子どもとの関わりに戸惑っていた学生も、経験を重ねるごとに自然な関わりを身につけていきます。

先輩から後輩へ 「みんなで学び合う」

特別支援教育専攻の学生たちに聞くと必ず返ってくるのが「先輩、後輩の関係がいい」、「先生方との距離が近く、話しやすい」という答え。先生方は専攻の学生一人ひとりに対してきめ細かく指導を行っています。また、授業や研究活動、課外活動においても上級生と下級生が協働する機会が多く、先輩学生が後輩に対し積極的にアドバイスし、相談に乗っています。互いに意見を出し合い、助け合い、学び合う伝統があります。県内外で多くの先輩も活躍しているので、卒業して社会に出ても宮大OB、OGとのつながりを持つことができます。

卒業後の主な進路

特別支援学校教諭、
小学校教諭、
大学院進学

取得可能な免許、資格

- 特別支援学校教諭一種普通免許状^{※1※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※3}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※3}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※3}
- 学校図書館司書教諭^{※4}
- 学芸員^{※5}

※1 取得可能な領域は知的障害、肢体不自由、病弱の3領域です。

※2 卒業時に取得できる免許。

※3 時間割等の条件が合えば努力次第で取得できる可能性のある免許。

※4 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

医学部

Faculty of Medicine

良き医療人材の育成と

生命科学分野の研究拠点を目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。
平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。



医学部長
菱川 善隆

医学科と看護学科は、本学のスローガン「世界を視野に地域から始めよう」のもと、地域社会はもとより広く世界に貢献する医療人を輩出することを目指しています。両学科共に1年次から始まる専門基礎科目を経て、学内外での体験学習を行い、医療人としての自覚を早期に育成します。医学科では4年次、看護学科では2年次から医療現場での臨床実習が始まります。臨床実習は本学部附属病院のみならず、各地の連携研修医療施設においても行われ、最前線で活躍する先輩医師や看護師から直接指導を受けます。また、ドクターヘリの運航や救命救急センターの診療を通して、県下医療機関と連携した救命救急医療体制を構築しており、新型コロナ禍においても、県内医療機関の最後の砦として貢献しています。このような環境のもとで医学・看護学を学び、地域を支える意欲、また世界に貢献する意欲に燃えるみなさんの入学を歓迎します。

医学部 各学科

医学科

地域における医学・医療の中心的な役割を果たす
宮崎の地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる医師・医学研究者を育成。

P25

看護学科

人間と生命の尊さがわかる専門職を育成
看護による健康への支援を通して保健医療に貢献できる看護師、保健師を育成。

P27





■ 医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

■ 医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜まず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。

■ 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

医学部

宮崎大学医学部では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

- 1) 社会に貢献できる医療人として、豊かな人間性を持ち、謙虚な心で、人命尊重、的確な判断力、実行力を備え、義務と権利を適正に行使できる。
- 2) 自ら学修計画を立て、主体的に学び、自己研鑽し、最新の医学および看護学の知識を生涯にわたって学修することができる。
- 3) 教育によって身に付けた医学および看護学の知識や新たな知見を複眼的、論理的に分析するとともに、課題を認識し医療の進歩に貢献できる。
- 4) 相手の伝えたいことを的確に理解し、自己を表現でき、他職種と連携してチーム医療を実践できる。
- 5) 医学および看護学を学ぶ機会が得られたことへの感謝の心とプロフェッショナルとしての自覚を持ち、教育で得た知識、技能によって地域医療に貢献できるとともに、グローバルにも活躍できる。

■ 施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学総合研究センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター



医 学 科

School of Medicine



地 地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

地域を第一に！ 地元で地域の医療に携わりたい



医学科 5年

岩崎佑姫奈 Yukina Iwasaki

宮崎県 宮崎大宮高校出身

本学科には、大学で学んだことがそのまま職業として活かせるのが医学科だなと感じて志望しました。宮崎県の地域医療に関わることが前提の地域枠で入学。そのため僻地での実習や、宮崎のことを学べる機会が多いです。地域枠で働いている医師たちのライフプランを見る機会もあるため、自分が将来どんな働き方ができるか想像しやすいのも良いですね。医師不足が深刻化している地域に行かないといけなかなというイメージがありました。女性特有のライフイベントに対しても柔軟に対応してくれるのも分かりました。これまで学んできたなかで、呼吸器系に興味があります。将来は全人的なケアをしながら、好きな呼吸器系を強みにした医師になりたいです。



医学科 カリキュラム

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、初修外国語、専門基礎) 課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題) 学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)	英語				
基礎形成科目	(地域社会と医療) EMP 1 (医学研究演習 I) 肉眼解剖学 I 組織学総論	早期地域医療実習 生命科学展望 (医学研究演習 II) 肉眼解剖学 II 組織学各論 機能生化学 医科生化学 医科生理学	統合生理学 免疫・生体防御学 寄生虫学 チュートリアル ～症例から学ぶ～ 環境中毒学 医学実験動物学 臨床倫理基礎論	研究室配属 (医学研究演習 III) 薬理学 病理学 微生物学	神経科学 公衆衛生学 公衆衛生学実習 法医学	(EMP II) (医学研究演習 IV)
臨床医学科目		地域医療学	循環器 消化管 呼吸器 肝・胆・膵 膠原病・感染症	神経・運動器・脊椎 眼科学 精神医学 放射線医学入門	内分泌・代謝 血液 腎・尿路 皮膚科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 歯科口腔外科学 救急応急と急症の生体管理 新生児・小児科学	生殖医学 老年医学と緩和医療 リハビリテーション医学 臨床遺伝学 臨床腫瘍学 薬剤処方学・東洋医学 臨床診断学
			臨床実習前の共用試験 (知識の習得状況を測定する試験)	共用試験 <CBT> <Pre-CC OSCE>	臨床実習前の共用試験 (技能や態度を評価する客観的 臨床能力試験)	
				クリニカル・クラークシップ I (4年～5年) <病理学・臨床検査医学><内科学> <精神医学><小児科学> <外科学><整形外科学> <リハビリテーション医学> <皮膚科学><泌尿器科学> <眼科学>	臨床実習後の共用試験 (技能や態度を評価する客観的 臨床能力試験)	クリニカル・クラークシップ I 到達度試験 クリニカル・クラークシップ II (5年～6年) Post-CC OSCE
					クリニカル・クラークシップ I (4年～5年) <耳鼻咽喉科学><産婦人科・周産期学> <放射線医学><麻酔学> <脳神経外科学><歯科口腔外科学> <薬剤処方学・東洋医学・医療安全学> <救急医学><CMC(田野病院)> <地域医療学(在宅医療を含む)>	

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。



医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。



医学科 内科学講座
呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野
教授 宮崎 泰可 Taiga Miyazaki

充実した医学教育カリキュラムで 明日の良き医療人を育てます

医師には豊かな人間性と高い専門性が求められます。医学部医学科ではそのような医師を育てるべく、医師国家試験のその先の卒後臨床研修までを見据えた一貫した教育カリキュラムを整備しています。基礎医学を学ぶ1~3年生の段階から大学病院や地域の福祉施設での実習、研究室配属実習を経験します。4~6年生の臨床実習では県内外の教育病院で学ぶ機会があり、早い時期から医師としてのプロフェッショナルリズムを培っていきます。また英語教育プログラムを通して海外協定校での学びのチャンスもあります。足下は地域に根ざし、視野は世界に向けられる医師ならびに医学研究者を育成しています。医学・医療を学ぶ喜びと充実感を医学部キャンパスで体感して下さい。



医師として働き続けるための 『キャリアデザインサポート』体制

宮崎大学医学部では、医学科の卒業生及び学生が個人の資質を最大限に発揮しながら、医師・研究者として社会貢献を果たすキャリア形成を支援しています。大学ホームページ上では、専用サイト「キャリアデザインサポート」

 Career Design Support

宮崎大学医学部卒業生を支援するサイトです

を運用し、卒後臨床研修プログラムや専門研修プログラム、医学研究及び大学院進学、海外留学等に関する情報提供をはじめ、登録された卒業生・学生の問い合わせにも対応しています。

また、宮崎の医療を担う若手医師の育成のため、宮崎県を始めとする自治体、医師会、大学病院の三者が一致協力して、オール宮崎体制を築いています。

大学や附属病院の情報提供はもちろん、本学医学部で学んだ皆さんを卒業後も大学教員・職員・宮崎県が一丸となって応援していきます。

卒業後の主な進路

臨床研修医
(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

取得可能な免許、資格

- 医師(国家試験受験資格)

看護学科

School of Nursing



社 会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切に、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。

保健師課程があるから 宮崎の制度や仕組みを学べる



看護学科 4年

桐山 遥 Haruka Kiriya
宮崎県 宮崎学園高校出身

幼少時に入院したことがあり、看護師さんにお世話になりました。医師も考えましたが、声掛けなどで患者に寄り添え、距離が近い看護師になりたいと考えるように。本学科は保健師課程があるのが魅力。授業で、宮崎の制度のことや仕組みも学べます。また本学の世界を視野に地域から始めようのスローガンも気に入っています。私自身も地域から世界を考えており、「ユネスコ協会青年部」というボランティア団体を立ち上げました。子どもにSDGsを教える活動をしています。本学科は、附属病院が敷地内にあり、座学で現役の看護師や医師が講師として話してくれる機会があります。医学科もあるので、看護面だけでなく医師の講義で医療という面でも学べます。将来は、地域に根差し保健師になれればと思っています。

看護学科 カリキュラム

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

	専門基礎科目			専門科目							[保健師課程]	
	人間理解	健康と疾病理解	保健社会の仕組み理解	基礎看護学	在宅看護学	地域看護学	成人・老年看護学	精神看護学	小児看護学	母性看護学	統合と実践	公衆衛生看護学分野
4年	臨床倫理	臨床薬理学		症状・徴候からみる フィジカルアセスメント							看護研究II 災害看護論 総合実習 看護教育発達論 がん看護 心身よさをもちあわせ看護技術 AYA世代の健康課題	公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護学管理 公衆衛生看護学演習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学実習I 公衆衛生看護学実習II
3年	(ENP BIII)			看護管理学 医療安全論	ひむか看護実習II 在宅看護援助論 在宅ケア実習		成人看護援助論IV 成人看護援助論V 老年看護援助論II 成人・老年看護学実習I 成人・老年看護学実習II 成人・老年看護学実習III	精神看護援助論II 精神看護学実習	小児看護援助論III 小児看護学実習	母性看護援助論II 母性看護学実習	看護研究I 遺伝看護 健康運動看護実践論	公衆衛生看護学概論 地区活動論 保健指導技術論 健康教育論II 疫学演習
2年	臨床心理学 (ENP BII)	感染症学 薬理学 疾病・治療論総論 疾病・治療論I 疾病・治療論II 疾病・治療論III	公衆衛生学 疫学・保健統計 社会福祉論 看護関係法規	基礎看護技術III 看護過程 基礎看護学実習II	在宅看護論	対象別地域看護活動 健康課題別地域看護活動 健康教育論I	成人看護学概論 成人看護援助論I 成人看護援助論II 成人看護援助論III 老年看護学概論 老年看護援助論I	精神看護学概論 精神看護援助論I	小児看護学概論 小児看護援助論I 小児看護援助論II	母性看護学概論 母性看護援助論I		
1年	発達論 医学・医療概論	解剖生理学 解剖生理学演習 栄養生化学 栄養生化学演習 臨床病態学		看護学原論 基礎看護技術I 基礎看護技術II ひむか看護実習I 基礎看護学実習I 看護理論	ひむか看護論							

基礎教育科目

導入科目：大学教育入門セミナー／情報・数量スキル／外国語コミュニケーション／保健体育／専門基礎
課題免見科目：専門教育入門セミナー／環境と生命／現代社会の課題
士力発展科目：地域・学際系／自然科学系／外国語系

科 体：選択科目
()：自由科目
網掛け：保健師課程

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。



看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性・多様性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

地域に根ざした 明日の看護を一緒に創りましょう

医学部看護学科は保健師・看護師統合カリキュラムです。卒業時に看護師国家試験、保健師国家試験の受験資格が得られます(保健師教育課程は選抜制)。

大学共通の基礎教育科目に加えて、専門基礎科目では生物学的及び心理・社会的な側面から看護の対象について体系的に学びます。看護学専門科目では、「ひむか看護論」など地域に根ざした看護を学ぶ機会があります。私が担当する「母性看護学」では、母子とその家族を対象に妊娠・出産、子育ての支援について講義や演習、医学部附属病院における臨床実習を通して実践的に学修します。また、卒業後は大学院看護学研究科実践助産学専攻へ進学し、助産師国家試験受験資格を得る進路があることも看護学科の魅力の一つです。



看護学科 母性看護学・助産学領域
教授 関屋 伸子 Nobuko Sekiya



ココに
注目!

看護学の発展のために!

看護学の一層の発展のため、宮崎大学では医学部看護学科を母体とし、単一の研究科に特化した大学院看護学研究科を開設(平成26年)しました。研究科の構成は実践看護者育成コースと研究者育成コースから成り立っています。

実践看護者育成コースは、がん看護領域と実践助産学領域(免許取得課程)および実務経験のある助産師を対象とした実践助産学開発領域から構成されています。したがって従来看護学科で行っていた助産師養成は発展的に解消し、実践助産学領域に組み込まれています。一方、がん看護領域では、がん看護専門看護師の養成課程を有しており、将来の資格獲得が可能となります。

研究者育成コースでは、研究者の育成と共に、看護の多様化するニーズに応える形の研究を続けていきます。こうした大学院で

の研究成果が、今後の看護学の発展に寄与することは言うまでもありません。看護学が単独で大学院を構成することは国立大学では大変珍しく、その成果が注目されています。



卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、
他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、
他の自治体職員(保健師) 他

取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)^{※1}

※1 選抜制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。
保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、
申請により養護教諭二種免許を取得することができます。

工学部 人に役立つ、人を幸せにする。

Faculty of Engineering

工学部は、宮崎県唯一の工学部として、宮崎に根差し世界に目を向けた工学部を目標に、今後ますます進展する高度な科学技術に挑戦し、創造することができる人材の育成につとめ、国際的にも評価される質の高い学術研究活動を進めています。さらに、地域産業の発展を推進することにより、地域社会に知的な貢献をすることにつとめています。



人間の役に立つ技術や製品を開発する。
人間の生活を豊かにし、人間を幸せにする。
だから、ものづくりの原点は自分づくり、人づくり。
あたたかな体温を持つ研究者は、
地域に世界に貢献できる。



工学部長
鈴木 祥広

工学部は、ジェネラリティを持つスペシャリストの養成をめざして、これまでの各専門分野からなる学科の壁を無くして、専門分野の異なる6つの教育プログラムからなる1学科で構成されています。ジェネラリティとは、広く一般的な知識や専門的な基礎知識のことです。スペシャリストとは、専門分野に特化した知識・技術を備えた人です。工学部では、両方を兼ね備えた人材の育成を目指します。これからの50年先、100年先を見据えると、工学部は、なくてはならない学部の一つです。

工学部の学生は、就職には全く困りません。社会・企業からのニーズが極めて高いので、全国の大企業でも地元の企業でも、希望する業界・職種に、ほぼ全員が就職できます。学部の4年間と大学院工学研究科修士課程の2年間は、安心して学業や研究に集中できる環境が整っています。太陽と海と山に囲まれたこの自然豊かな宮崎の地から、世界を視野に一緒に学んでいきましょう。

新しい工学部の特徴

- ✓ 7学科から1学科6プログラムに変わりました
- ✓ ジェネラリティを持つスペシャリストを養成します
- ✓ データサイエンス分野を強化します
- ✓ 環境・エネルギー工学研究センターを機能強化しました

■工学部工学科 各プログラム

応用物質化学プログラム

化学の力で持続可能で豊かな生活の実現を目指す

P31

土木環境工学プログラム

地球環境と調和した土木技術を目指して

P33

応用物理工学プログラム

物理と数学で新たな価値を創出する

P35

電気電子工学プログラム

最先端の電気電子テクノロジーで
世界をビリビリさせよう

P37

機械知能工学プログラム

人類の幸福のために「ものづくり」を極める

P39

情報通信工学プログラム

情報通信技術で未来を創る

P41



■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

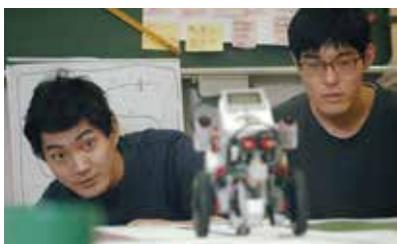
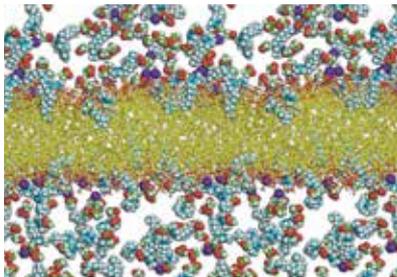
本学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人(主体性)
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人(主体性)
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人(協働性、表現力)
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人(学問への関心、思考力)
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人(知識・理解、思考力)

■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

宮崎大学工学部では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士(工学)を授与します。

- 1) 工学技術者としての高い意識を持ち、人類の文化、社会、自然、及び専攻する学問分野における知識を理解し、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 2) 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 3) 相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
- 4) 課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。
- 5) 人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。



応用物質化学プログラム

Applied Chemistry Program



応 用物質化学プログラムでは、化学、数学、情報などの基礎から先端的な応用化学、生命、材料等にわたる専門知識を学ぶことができます。持続可能で豊かな生活を実現するための物質・エネルギー生産ならびに地球環境および生態系の保全に貢献できる人材を育成します。

実験が多いのがうれしい 化学 + a で他分野と連携もできる

応用物質化学プログラム 2年

石原 鷹 Takaya Ishihara 熊本県 済々饗高校出身
大場泰葉 Yasuha Ooba 宮崎県 宮崎大宮高校出身
新藤将太 Shota Shindo 宮崎県 高鍋高校出身

地域と連携した学びができるのが良いという石原さん。地域の問題を浮き彫りにしてどう解決していくかを考える大学だからこそ、地域に特化した研究を先生方がしているのが魅力なのだそうです。大場さんは本学部が2年生進学する際に、専門のプログラム変更ができることに魅力を感じたといいます。新藤さんも大場さんと同じ部分に惹かれており、全プログラムの授業が受けられ、専門以外との関連性を知ることができるのが気に入っているとか。実験が多いのが特徴で、今話題のSDGsや環境学系のことなど、興味があることも深められる講師陣が揃っているようです。高校時代に暗記で覚えた部分を理論的に教えてもらえ、これまで培った知識を深める学びが叶います。



工学科応用物質化学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅰ・Ⅱ 物理科学Ⅱ 基礎科学実験 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 化学概論 数理情報Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅲ 応用数学 電磁気学 力学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学
共通教育科目	【概論科目】 ● 工学概論	【分野融合科目】 ● 現象と数理	【PBL科目】 ● プロジェクト演習	Pick up 課題演習Ⅰ 応用化学が関連する最新の課題(研究基盤技術やAI活用、安全管理など)を創意工夫して解決する演習を行い、課題探求および問題解決能力を養います。
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 無機化学基礎 有機化学基礎 Pick up 応用物質化学実験Ⅰ 応用物質化学実験Ⅰ～Ⅲでは化学実験の基本事項を身につけ、実験体験を通じて化学実験の面白さを体験し、化学の勉学意欲を高めることを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> 物理化学Ⅰ・Ⅱ 有機化学Ⅰ 無機化学 分析化学 	<ul style="list-style-type: none"> 化学工学 高分子化学 生命化学Ⅰ・Ⅱ 応用物質化学実験Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 反応工学 安全工学 課題演習Ⅰ・Ⅱ
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> 有機化学Ⅱ 無機材料化学 微生物工学 	<ul style="list-style-type: none"> 分子生物学 応用物質化学実験Ⅱ・Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> 分光分析学 機器分析化学Ⅰ・Ⅱ 分離工学 細胞生命工学 応用物質化学特論 	<ul style="list-style-type: none"> 無機高分子材料 電気化学 生体高分子化学 生体反応工学
	工場実習、学外技術研修			卒業研究
	海外体験学習			水環境
				長期インターンシップ

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



応用物質化学プログラムは、化学を含む自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人、それらを化学あるいは生命化学などの分野で生かしたいという情熱を持っている人、実験や観察が好きで化学現象や実験について考察したり工夫できる人、数学および化学を含む理科についての基礎学力を有しそれを身近な問題に応用できる人材を求めます。

- (1) 化学の知識・技術・考え方を学び、将来、応用化学、材料化学あるいは生命化学などの分野で活躍したいという情熱を持っている人。
- (2) 実験や観察が好きで、科学の様々な現象について考え、それを表現することに情熱を持っている人。
- (3) 化学、材料、および生命化学に関連する自然科学に対して幅広い興味を持ち、好奇心豊かな人。
- (4) 数学、化学を含む理科、情報技術および語学の基礎学力を持ち、それらを身近な問題に応用できる人。

環境保全に活用できるような機能性を持った微生物を見つけたい。

現在、世界各国で有害物質や産業廃棄物による環境汚染問題が深刻化しており、地球上に優しい環境保全技術の確立が望まれています。微生物による環境保全や廃棄物処理は、物理・化学的な手法と比較して、エネルギーコストが少なく、環境調和型システムとして非常に有効です。私は、環境保全に活用できるような機能性を持った新規微生物を自然界から分離し、その機能を明らかにするとともに、その応用開発を行なっています。

当プログラムは、化学における基本原理の探求から先端技術開発にわたる学術研究を通じて、化学物質の開発、生産及び利用の応用知識に加え、自然界や生体への影響、省エネルギー、資源循環再利用など環境調和の考え方を重視した教育を行います。



応用物質化学プログラム
助教 宮武宗利 Munetoshi Miyatake



宮崎からグローバルに羽ばたく!

地球環境に国境はありません。地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題など国際社会が協調して取り組まなければならない問題が多数あります。工学部の応用化学分野では、海外からの研究者や学生の受け入れや国際共同研究などの海外との連携を活発に行っています。

特に、モンゴル国立大学とミャンマーのヤンゴン大学の化学系の教員、学生との交流を行っており、毎年、モンゴルとミャンマーの学部学生、大学院生らとの合同学生会議を開催しています(写真)。在籍する応用化学分野の学生も、海外への関心が高く、短期海外研修や海外の大学との研究交流に積極的に参加しています。ま

た、多くの卒業生が身につけた専門分野を生かして海外駐在や海外技術協力など各国で活躍しています。化学という世界共通の言語を身につけ、宮崎から世界へ羽ばたいてみませんか。



卒業後の主な進路

化学・医薬・食品に関連する産業、電気・機械・情報に関連する産業、教職、公務員、大学院等進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業、理科)^{※1}
- 安全管理者^{※3}
- 学芸員資格^{※5}
- 毒物劇物取扱責任者^{※2}
- 危険物取扱者(甲種)^{※4}

- ※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 応用化学に関する学課を修了した者として、資格を有します。
 ※3 卒業後の勤務先で2年以上の産業安全の実務経験を経て、資格を有します(受験不要)。
 ※4 化学に関する科目を15単位以上修得すれば受験資格が得られます。
 ※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

土木環境工学プログラム

Civil and Environmental Engineering Program



道 路、橋梁、港湾、空港といった多くの社会基盤は人々の生活や経済の発展に欠くことができないものですが、自然破壊との交換によって存在するのであれば、それは健全な社会とは言えません。地球環境に配慮し、社会基盤を整備、維持する技術者を育成します。

土木のことはもちろん 関係する環境分野まで学べる



土木環境工学プログラム 3年

川邊 晴香 Haruka Kawabe

大分県 大分舞鶴高校出身

家業が建設会社ということもあって、土木分野は身近な存在でした。違う業種にも興味はありましたが、両親の働く姿を見てこの分野を学びたいと思うように。本学科は土木分野の構造や計算だけでなく、環境のことも学べるのが時代にフィットしていると感じます。県内で実験している教授も多く、大淀川などで身近に起こっていることを交えて授業を進めてくれるため理解しやすいです。私自身が災害に興味があり、地盤や構造について研究して防災系の設計をしたいと思っています。将来どの方向に進むかはまだ考えていませんが、大手の企業に就職したいですね。宮崎は、何も無いといわれがちですが、神社好きにはとっては隠れた名所がたくさんあって魅力いっぱいです。



工学科土木環境工学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
工学基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 I・II 物理学 II 基礎化学 数理情報 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学 基礎科学実験 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 III 応用数学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学 	<ul style="list-style-type: none"> 電磁気学
共通融合科目	【概論科目】 ● 工学概論		【PBL科目】 ● プロジェクト演習		
	【分野融合科目】 ● 現象と数理		Pick up		
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 ● 応用物質化学概論 ● 土木と環境 ● 量子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ 		<ul style="list-style-type: none"> ● 測量学実習 I・II ● 土木環境工学実験 I・II ● 課題アプローチ技法 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 測量学実習 II <p>自然地形にあわせて構造物を設計・施工するために、元の地形や構造物を測る技術が測量です。本授業ではドローンやレーザー測距等の新しい測量技術を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学 I ● 地球環境概論 ● 土木計画学 ● 水環境 ● 水理学 I ● 建設材料工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 弾性力学 ● プログラミング入門 ● 技術文章作成法 ● 地盤工学 I ● 衛生工学 ● 測量学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別実習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木環境工学実験 I・II <p>土やコンクリート等の建設材料の性質や、水の流れ・水質を調べる実験です。講義で習った現象を自分で確かめることで専門知識を深めることができます。</p>
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 水質計算演習 ● 構造力学 II ● 土木設計製図 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤工学 II ● コンクリート構造工学 ● 環境解析 ● 環境生態工学 ● 地盤防災工学 ● 河川工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学 II ● 交通計画 ● 水処理工学 ● 振動・地震工学 ● 沿岸環境防災工学 ● 構造物設計論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究
	海外体験学習				長期インターンシップ

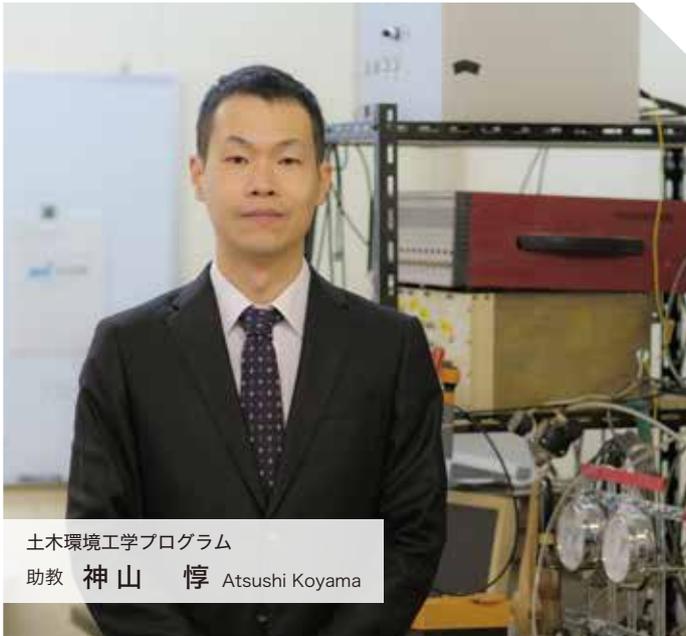
※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



土木環境工学プログラムでは、技術者の基礎となる能力、土木環境工学のどの分野でも活躍できるための基礎能力、社会の要請を察知・理解して適切な行動ができる人材の育成を目指しています。また、地球的視点から多面的に物事を考える能力を身に着けた人材の育成を目指しています。

- (1) 生活・生産基盤の建設や維持管理、防災、都市計画、環境保全に興味がある人。
- (2) 土木環境分野に興味を持ち、それらに関し本を読むなど、積極的に自己学習できる人。
- (3) 自然科学の基礎学力(数学、物理、化学)を有している人。
- (4) 日本語と英語を基礎とした表現力を持っている人。
- (5) 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる人。



土木環境工学プログラム
助教 神山 惇 Atsushi Koyama

自然災害に負けない 豊かな未来を創造する。

土木環境工学は、社会を創造するための学問です。道路、橋梁、ダム、河川、水道などは、私たちの生活に欠かせない社会基盤です。当プログラムでは、自然と共生し、地球環境に配慮した社会基盤づくりに関する技術と知識を学びます。

近年頻発する豪雨と地震災害によって、道路や堤防などの土構造物が崩壊しています。私は地盤工学が専門であり、なぜこのような崩壊が起きたのか？を明らかにしています。雨や地震の力によって土の中で何が起きたのか、なぜその場所が壊れたのかを研究して、崩壊メカニズムを解明します。原因を究明することで、効果的な防災・減災対策を施すことが可能になります。現在の社会をより良くし、未来を創っていく土木技術者を目指して、本プログラムと一緒に学んでみませんか。



ココに
注目!

国際的な 廃棄物問題に取り組む

途上国では、予算や技術不足のためにごみの不適切な処理が行われています。廃棄物処分場では、家庭や産業から出されたごみが処理されずに運ばれ、発生するガスや汚水によって環境汚染や健康被害が発生しています。本プログラムでは、インドネシアの大学と提携を結び、現地での資源循環の仕組みづくりや、環境汚染の実態調査に関する研究を行い、国際的な廃棄物問題の解決に取り組んでいます。



卒業後の主な進路

建設・環境・インフラに関連する産業、
建設コンサルタント、地方・国家公務員、
大学院進学

取得可能な免許、資格

- 修習技術者資格^{※1}
- 測量士補^{※2}
- 学芸員資格^{※3}

^{※1} 本プログラムのJABEE修了要件を満たすと、文部科学省所管の技術士制度における技術士第一次試験が免除され、修習技術者の資格を得ることができ、申請により技術士補の資格を得ることができます。

^{※2} 所定の科目の所要単位を修得し、申請後に資格が得られます。

^{※3} 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

応用物理工学プログラム

Applied Physics and Engineering Program



持 続可能な開発目標:SDGsとこれからのスマート社会Society 5.0を両立させるには、量子工学や電磁気学、最新の半導体工学などに基づいて再構成した超小型・省エネの半導体デバイスが必要です。本プログラムでは、科学の基礎となる物理学や数学から、半導体工学を始めとするさまざまな専門分野の教育を行い、習得した知識を実用技術へ発展させる能力や、課題解決能力を持った技術者や研究者を育成します。

基礎の物理学から半導体工学まで 好きなことを深めていきたい



応用物理工学プログラム 2年

神崎 結莉 Yuri Kanzaki
大分県 別府鶴見丘高校出身

物理を学ぶと現象の本質を知ることができることから、物理に興味を持ちました。物理学を専門的に学びたいという思いから、宮崎大学工学部応用物理工学プログラムを受験しました。進学後は物理の基礎から半導体工学まで、幅広く学んでいます。

半導体はシステムや機器の小型化や効率化に必要な不可欠な物質であり、半導体工学は今後飛躍的に発展し、開発されていく未来ある分野です。将来、私も研究者として、半導体開発に携わっていきたいと考えています。

自然に囲まれた宮崎大学のキャンパスは勉強するには良い環境が整っています。

物理学を学びたい、学んだことを応用して誰かの役に立つモノを開発・研究したいという人にお勧めです。



工学科応用物理工学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
工学基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析Ⅰ・Ⅱ ● 物理科学Ⅱ ● 化学概論 ● 数理情報Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 線形代数 ● 力学Ⅰ ● 基礎科学実験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析Ⅲ ● 応用数学Ⅰ ● 電磁気学Ⅰ ● 技術者倫理と経営工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工学英語 	<p>Pick up</p> <p>半導体デバイス工学</p> <p>パソコンやスマートフォンの中の半導体集積回路を支えるトランジスタの原理から、撮像素子、メモリ、論理回路の基礎について学びます。</p>
共通融合科目	【概論科目】 ● 工学概論		【PBL科目】 ● プロジェクト演習		
	【分野融合科目】 ● 応用物質化学概論 ● 土木と環境 ● 量子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ				
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 力学演習 <p>Pick up</p> <p>統計データ解析</p> <p>実験や観測で集めたデータから、どのような現象が起こっているのかを理解するための法則性を見つける方法について学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 力学Ⅱ ● 応用物理工学実験Ⅰ・Ⅱ ● 電磁気学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数値解析 ● 熱力学 ● 電子物性工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学Ⅱ ● 電気回路 ● 量子力学 ● 半導体デバイス工学 ● 電子回路 	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体物性工学 ● プログラミング言語 ● 光エレクトロニクス ● 放射線物理学 ● 応用物理学セミナー
	<p>宇宙物理学</p> <p>天体から発せられた光などを観測することによって、どのようにして天体の事が分かるのか、特に星の構造や星の内部ではたらく力、星が出ているエネルギーの源について学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料物性工学 ● 統計データ解析 	<ul style="list-style-type: none"> ● 統計力学 ● 応用物理学特別講義 ● 太陽光発電デバイス工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電磁波工学 ● 宇宙物理学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究
専門選択科目	海外体験学習				
	<ul style="list-style-type: none"> ● レーザー工学 ● データ処理回路 <p>インターンシップ</p> <p>長期インターンシップ</p>				

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



応用物理工学プログラムでは、学生が物理学や数学などの基礎科学を系統的に学びながら現代物理学に対する素養を身につけるような教育を行います。これによって、光センシングやエネルギー変換、エネルギー計測などの最先端光学技術の開発を加速させるなど、習得した知識を実用技術へと発展できる能力や課題解決能力、高い倫理性を持った技術者や研究者を育成します。そこで本プログラムでは次のような人を求めています。

- (1) 自然科学や科学技術に対する強い関心とそれらを生かして、将来社会の役に立つ意欲がある人。
- (2) 物理学や数学などの基礎的学力を有し、持続して勉学に取り組むことができるとともに、課題の解決へ向け主体的に行動できる人。
- (3) 実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力を有し、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる人。
- (4) 光センシングやエネルギー変換、エネルギー計測などの最先端工学技術開発に寄与できる高度専門技術者・研究者の育成を目的とした教育に興味をもっている人。



応用物理工学プログラム
教授 森 浩二 Koji Mori

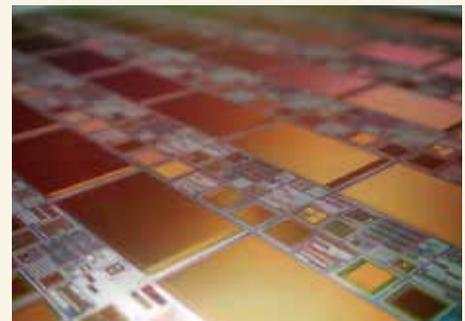
物理好きな人集まれ！ 半導体で切り拓く次の未来！！

応用物理工学プログラムは、力学、電磁気学、量子力学などの物理科目をベースに、量子・計測技術分野と新材料・半導体分野の両方を学べるプログラムです。その上で、本プログラムでは「半導体」に重点を置いた教育をおこなっています。量子・計測技術分野は宇宙を含む自然界の現象を捉え、未知の現象を追及しています。そのために、X線や中性子に感度を持つ半導体イメージングセンサなどを開発しています。新材料・半導体分野では、次の時代を担う高効率太陽電池、熱電変換素子、レーザーの研究をおこなっています。そのために、原子レベルで半導体の結晶を制御した超格子構造を使った新型レーザーなどを開発しています。この世界のありとあらゆるモノの中で、半導体が動く時代になりました。まだこの世にない半導体センサや半導体材料の開発を通して、次の時代をあなたの手で切り拓いてみませんか？



未知のブラックホールを捉える 高感度X線版デジタルカメラの開発!!

多くの皆さんが、日常生活で写真を撮るときは、手持のスマートフォンのカメラが使われていることでしょう。写真撮影が趣味という人は、高感度のデジタルカメラを持っているかもしれません。それらのカメラのほとんどがCMOSイメージセンサーを内蔵しています。CMOSイメージセンサーは、本プログラムが専門とする半導体技術を利用して作られています。私たちは、皆さんが持っているものよりも何十倍も厚いCMOSイメージセンサーを開発しています。厚くすることで透過力の高いX線をも捉えることができるようになります。この高感度X線版デジタルカメラを天文衛星に搭載して、これまでまだ誰も見たことのない未知のブラックホールの撮影に挑戦しています。皆さんも、このワクワクするような研究に参加してみませんか？



CMOSイメージセンサーの元になる半導体ウエハの写真です。同じパターンが周期的に配置されている様子が見えると思います。一つのパターンの中に長方形の構造を持つ複数のセンサーがあり、これらを切り出して加工していきます。一番大きなセンサーが我々が開発しているものです。

卒業後の主な進路

電気・半導体に関連する産業、
各種製造業、ソフトウェアに関連する産業、
教職、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業、理科)^{※1}
- 学芸員資格^{※2}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
※2 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

電気電子工学プログラム

Electrical and Electronic Engineering Program



電 気電子工学プログラムでは、再生可能エネルギー、医療・生体工学、スマートエネルギーソリューションをキーワードに現代社会を支える基盤技術の基本原則と基礎知識を習得させ、社会の変化や要請に対応できる電気電子工学分野の専門技術者・研究者を育成します。

太陽光発電の最先端の研究が進む 最高の環境で学べる喜び



電気電子工学プログラム 2年

木場 龍聖 Ryusei Kiba
鹿児島県 玉龍高校出身

本プログラムのすごい部分は、やはり太陽光発電の最先端の研究をしている教授陣のもとで授業を受けられることだと感じます。研究には、発電効率世界一という結果を出したのものもあります。入学前はプログラミングを学びたいと思っていたのですが、基盤などものづくりの分野が大きい今の専門が気に入っています。途中で専門を変更することも視野に入れていましたが、学び始めると好きな電磁気学の話も論理的に説明してもらえますし、高校時代に教科書で見てきた公式を計算して出せることでより理解できるのが楽しいです。大学の近くに海がある豊かな環境のため、気分転換に堀切峠までの近場ドライブもできます。将来は、海外でも通用する人になりたいですね。

工学科電気電子工学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
工学基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析 I・II ● 物理科学 II ● 基礎化学 ● 数理情報 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 線形代数 ● 力学 ● 基礎科学実験 ● 電磁気学 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析 III ● 応用数学 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工学英語 ● 技術者倫理と経営工学 	
共通教育科目	【概論科目】 ● 工学概論		【PBL科目】 ● プロジェクト演習		
	【分野融合科目】 ● 応用物質化学概論 ● 土と環境 ● 量子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ				
専門必修科目	<p>Pick up</p> <p>電気電子工学実験・演習 I</p> <p>実験の基礎となる電気諸量の測定原理と測定方法を理解し、実験装置または実験器具の取り扱い方を実験をとおして実践的に学び、習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気回路 I・II ● 計算機プログラミング ● パワーエレクトロニクス I ● 電気電子工学実験・演習 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電磁気学 II・III ● 制御工学 I ● 電気電子計測 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気回路 III ● 信号処理 I ● 電気電子工学実験・演習 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子回路 I ● 半導体工学 I <p>● 卒業研究</p>
	<p>● 電子回路 II</p> <p>● 電力工学</p> <p>● 制御工学 II</p> <p>● 通信工学</p> <p>● 高電圧工学</p> <p>● 電磁波工学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学 II ● 論理回路 	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号処理 II ● パワーエレクトロニクス II ● 再生可能エネルギー工学 ● 光エレクトロニクス ● 数値解析 ● 半導体工学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップ ● 長期インターンシップ 	
専門選択科目	海外体験学習				

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



電気電子工学プログラムでは、数学、電気回路、電磁気学を基礎とし、太陽光発電、再生可能エネルギー、医療工学、集積回路、電力、プラズマ、制御、レーザー、センシング技術、半導体材料、電磁波の各専門分野の考え方を習得するため、講義、実験、演習を体系的に編成した教育研究を行います。したがって、本プログラムでは、次のような人材を求めています。

- (1) 人類が持続的に発展することに貢献しようとする意思をもつ人。
- (2) 問題解決へ向けて、自ら積極的に目標と計画を立てることができる人。
- (3) 日本語および英語を用いた基本的表現力をもつ人。
- (4) 問題解決へ向けて、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人。
- (5) 電気電子工学分野(数学、電気回路、電磁気学を基礎とし、太陽光発電、再生可能エネルギー、集積回路、電力、プラズマ、制御、レーザー、センシング技術、半導体材料、電磁波などの各専門分野)に強い関心をもつ人。
- (6) 電気電子工学分野を学ぶための数学、理科、英語などの基礎学力をもつ人。



電気電子工学プログラム
教授 穂高一 条 Ichijo Hodaka

広範な学問領域を学んで 社会に役立つ実力をつけよう！

電気電子工学分野は、人々の生活を豊かなものにし、人類が持続的に発展するための中心的役割を担う学問分野です。皆さんが使っているスマートフォンも、この分野の発展がなければ決して手にすることはなかったでしょう。この分野が就職に最も強いと言われているのも納得できますね。

電気電子工学分野は非常に広範な学問領域を含んでおり、今でもその領域を広げ続けています。本プログラムでは、この学問領域を体系的に学ぶことができるよう工夫された授業科目を提供しています。

卒業研究では、このような非常に広い学問領域の中から一つのテーマを選択し、理解を深めます。難しく感じるかもしれませんが、間違いなく実力がつくので、是非この分野を志してください。



ココに
注目!

高性能電磁界 シミュレーション

電磁界は電界と磁界の相互作用によって開かれる場であり、電磁界の伝搬が無線通信の原理になっています。電界と磁界の振る舞いを明らかにするために偏微分方程式(Maxwell方程式)を解く必要がありますが、この方程式を解析的に解くことは困難であるため、計算機の力を借り数値的に解くことになります。これが電磁界シミュレーションです。電界と磁界の相互作用は、その発生源であるアンテナから空气中を遙か彼方まで伝搬してゆき、その過程で金属や誘電体によってねじ曲がったり反射したりを繰り返します。このように広範囲で複雑な振る舞いをする電磁界を高精度にシミュレーションするためには、高い計算性能を有する計算機と、計算機の性能を十分に引き出すことができる高度なアルゴリズムによってシミュレーション・システ

ムを構築する必要があります。これまでにワークステーションクラスやスーパーコンピュータ等の並列計算環境において動作する領域分割型並列計算アルゴリズムを開発し、世界最大級となる3億要素規模の高周波帯域の電磁界解析を数時間で完了することに成功しました。現在は、これを電磁環境影響評価や、癌の温熱治療時のサーモシミュレーションに適用する手法の検討をしています。これに加え、領域間の釣り合い計算のアルゴリズムを工夫することによる、更なる高性能化の研究も推進しています。



卒業後の主な進路

電気・半導体に関連する産業、
ソフトウェアに関連する産業、
各種製造業、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業)^{※1}
- 学芸員資格^{※2}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
※2 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

機械知能工学プログラム

Mechanical Engineering Program



機 械工学の「解析」と「総合」に重点を置いた専門教育を実施し、ものづくりの基盤となる知識、経験、実験、実習を習得することにより、21世紀の幸福な社会的要求に応える「人と自然にやさしいものづくり」を目指す専門技術者を育成します。

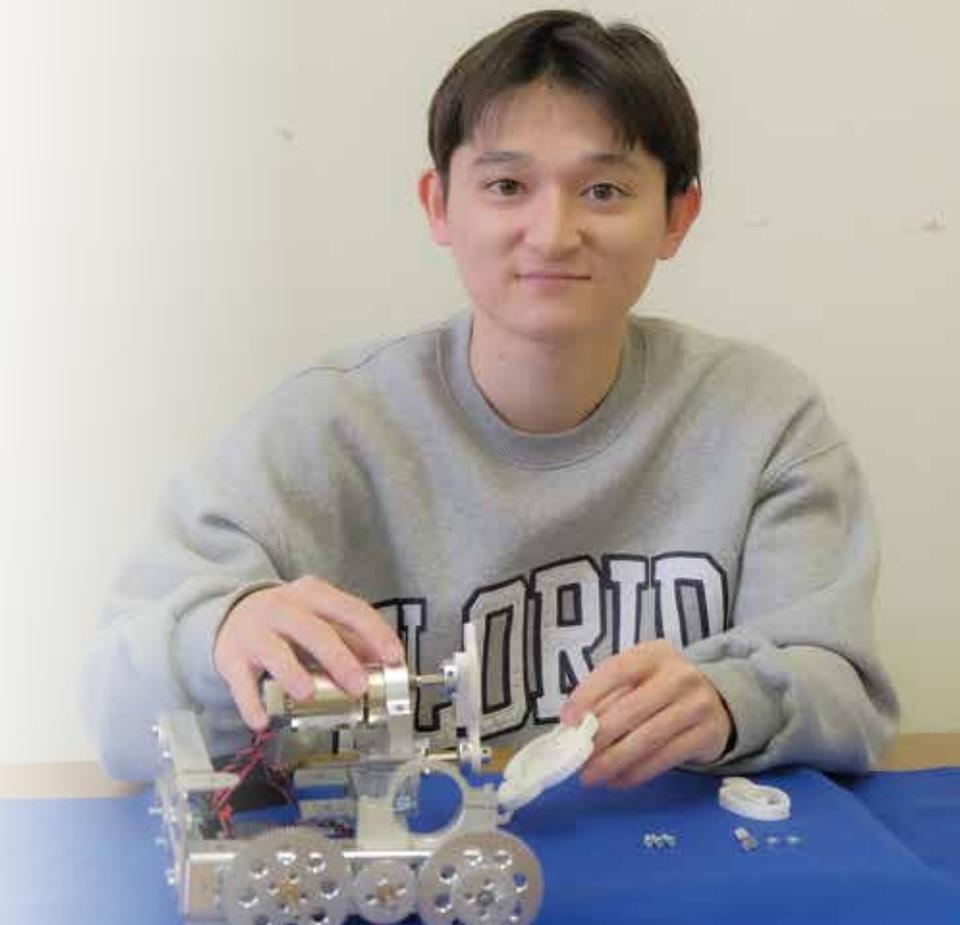
人と社会を支えるロボット開発・設計技術者を目指して



機械知能工学プログラム 3年

古閑 軸 Tasuku Koga
熊本県 鹿本高校出身

私は人と社会を支えるロボットに興味があります。きっかけは小学生のときに、親せきの家でお掃除ロボットを見たことにあります。将来は、ロボットの開発や設計を担う技術者を目指して、専門知識を身に付けられる本プログラムを志望しました。授業を受けてみると、先生方は質問に対して理解できるまで熱心に教えてくれ、頑張る人には最後まで指導してくれます。進級すると、機械に関する講義、実験、演習の科目数が増え、学ぶことも多くなります。日々新しいことを学ぶことがうれしいですし、ロボット工学という講義を受講するのが楽しみです。本プログラムで、機械に関する専門知識や技術、能力を自分の力にしたいですし、将来は社会に役立つ技術者を目指します。



工学科機械知能工学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 I・II 物理学 II 基礎化学 数理情報 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学 基礎科学実験 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 III 応用数学 電磁気学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学
共通融合科目	【概論科目】 ●工学概論	【分野融合科目】 ●現象と数理	【PBL科目】 ●プロジェクト演習	Pick up 機械知能工学実験 I・II プログラム専門科目に関連した実験を行うことで、講義で修得した内容をさらに深く理解することができます。
専門必修科目		<ul style="list-style-type: none"> 機構学 機械製図基礎 加工システム実習 機械力学 伝熱工学 	<ul style="list-style-type: none"> 材料力学基礎 熱力学 I 材料力学 機械設計工学 流体力学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 機械要素設計製図及びCAD実習 機械知能工学実験 I・II 自動制御 生産情報工学 知能センシング 機械加工学 流体力学 応用機械設計製図
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> 工業力学 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム言語及び演習 3Dシミュレーション 機械材料学 数値解析 熱力学 II 	<ul style="list-style-type: none"> 振動工学 流体機械 バイオメカニクス 熱エネルギー変換工学 計測工学 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術英語 卒業研究
		製造プロセス学外研修	インターンシップ	長期インターンシップ
		海外体験学習		

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



機械知能工学プログラムでは、ものづくりのベースとなる機械工学の知識や、これからの社会で必要となる情報処理や人工知能等の関連知識を習得できる教育を行います。また、持続的社会的実現に向けて、高い創造力と実行力を持った人材の育成を目標としています。そこで本プログラムでは次のような人材を求めています。

- (1) 「人と自然に優しいものづくり」や「超スマート社会の実現に向けたものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組む人。
- (2) 数学及び理科の基礎的な知識・理解を有する人。
- (3) コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人。
- (4) 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人。



機械知能工学プログラム
教授 河村隆介 Ryusuke Kawamura

革新的なものづくりの専門知識と 技術を習得した技術者や研究者に

工業製品やそれらを製造する機械は、人々の暮らしを便利で豊かにしています。一方で、機械の技術者や研究者は、ものづくりの研究開発を通じて社会に貢献しています。少子高齢化や地球温暖化の課題に直面する現在、人々の幸福や持続可能な社会発展の実現のため、革新的で新たな価値を創出する研究開発が期待されています。機械知能工学プログラムでは、ものづくりの基盤となる機械工学分野の専門知識と技術をベースに、周辺の工学分野やデータサイエンスの基礎知識も習得できます。また、ものづくりのほか、人工知能やロボットの技術の活用、農業や医学の異分野と連携した研究を行えます。機械知能工学プログラムで学び、機械の技術者や研究者になって、将来、地域や世界で活躍しましょう。



太陽熱の蓄熱および エンジンでの発電への利用

太陽熱とは、太陽光を熱に変えたエネルギーのことです。太陽光は雲の状態などで変化する不安定なエネルギーですが、太陽光を熱に変え蓄熱することによって、夜間でも安定して利用することが可能となります。本プログラムでは、宮崎大学に設置されているビームダウン式太陽集光装置を利用して1000°C以上の高温で蓄熱を行う研究や、その熱を利用してエンジンを動かし発電を行う研究を進めています。写真は、市販の発電用ガソリンエンジンをベースにして、太陽熱を利用して発電するために改造したエンジンです。



卒業後の主な進路

自動車、重工業、航空機、医療機器、マテリアル、エネルギー産業、工作機械、産業機械、エレクトロニクス、プラントエンジニアリングに関連する産業、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業)^{※1}
- エネルギー管理士^{※2}
- 機械設計技術者^{※3}
- 学芸員資格^{※4}

- ※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 エネルギー管理士試験において必須基礎科目及び選択科目(熱分野または電気分野)の試験に合格することにより取得できます。
 ※3 所定の科目の所要単位を修得し、実務経験や所定の条件等を要するものがあります。
 ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

本プログラムのJABEE認定プログラムは2022年度入学生までを対象としています。

情報通信工学プログラム

Information and Communication Technology Program(ICT Program)



情 報通信工学プログラムでは、情報工学および通信工学の専門知識と実践能力を身につけ、その技術を活用して社会の持続的発展と問題解決に貢献する、自立した専門技術者や研究者の育成を目的として教育研究を行います。



情報通信工学プログラム 3年
佐伯夏名 Kana Saiki
 愛媛県 西条高校出身

プログラミング初心者でも大丈夫 何事にも挑戦して充実した日々



情報通信工学プログラム 3年
谷山こはる Koharu Taniyama
 鹿児島県 鹿屋高校出身

情報系に興味があり、本学に宮崎・学生ビジネスプランコンテスト(ビジコン)があることに惹かれて本プログラム志望したという佐伯さん。一方、谷山さんは、中学生のときロボットコンテストのグループに入っていた際に、プログラミングに関わるチャンスがあり、かねてから関心を持っていたのだといいます。初心者でも大丈夫と聞いて入学し、座学が多いながらもプログラミング演習などパソコンを触る授業もあって楽しいのだそう。2人は本学のビジコンと一緒に参加した仲。人とのつながりの場を学校が設けてくれ、やりたいと思うことを後押ししてくれる本学のサポート体制に勇気づけられたのだそう。挑戦する人が多い本学の環境に、良い影響を受けています。



工学科情報通信工学プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
工学基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析 I・II ● 物理学 II ● 基礎化学 ● 数理情報 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 線形代数 ● 力学 ● 基礎科学実験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析 III ● 応用数学 ● 電磁気学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工学英語 ● 技術者倫理と経営工学 	
共通融合科目	【概論科目】 ● 工学概論	【分野融合科目】 ● 現象と数理	【PBL科目】 ● プロジェクト演習		
	【分野融合科目】 ● 応用物質化学概論 ● 土と環境 ● 星子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ				
専門必修科目		<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信基礎 ● 論理回路 ● アルゴリズムとデータ構造 ● コンピュータアーキテクチャ ● コンピュータネットワーク ● オペレーティングシステム ● プログラミング演習 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 離散数学 ● 情報理論 ● 電気回路 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェア工学 ● 情報セキュリティ ● データベース ● ネットワークプログラミング ● 情報通信プロジェクト演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究
				<ul style="list-style-type: none"> ● ディーラーニング ● データ解析 ● 最適化理論 ● 電気回路 II ● 信号処理 ● ネットワーク応用 ● 画像工学 ● 機械学習 ● 知識情報処理 ● 通信工学 ● 組込みシステム ● 数値計算法 ● 動的システム ● プログラム言語論 ● 生命情報処理 	<p>Pick up</p> <p>ネットワークプログラミング</p> <p>クライアントサーバシステムの設計と実装を通じて、情報システム開発に必要なモデリング能力、分析能力、実現能力を育成します。</p>
専門選択科目	情報工学特別講義				
	短期インターンシップ 長期インターンシップ				
	海外体験学習				

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

求める学生像



情報通信工学プログラムでは、情報工学および通信工学の専門知識と実践能力を身につけ、その技術を活用して社会の持続的発展と問題解決に貢献する、自立した専門技術者や研究者の育成を目的として教育研究を行います。したがって、本プログラムでは次のような人を求めています。

- (1) 情報通信技術者をめざし、情報通信技術 (ICT) を通じて、人類の幸福と地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人。
- (2) 明確な目標を持って、継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人。
- (3) 日本語と英語を基礎とした表現力を持ち、チームの一員として自分に与えられた役割を理解してチームワークのもとで様々な問題を解決し、目的を達成する意欲がある人。
- (4) 学修を通して獲得した情報通信技術の知識やスキルを活かし、社会が抱える課題の発見とその解決に取り組む意欲がある人。
- (5) 公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報通信工学の学修に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持つ人。

生命の仕組みの理解や

診断・創薬に活かす情報技術

情報通信技術は幅広く応用されています。医学や生命科学では生命の仕組みや病気について大量のデータが取れるようになり、情報解析することで大量のデータに潜む関係から新しい事実の発見が次々にされています。また、発見だけでなく、大量のデータから規則性を見いだして、予測するためのシミュレーションや、見分けるための人工知能 (AI) 技術を活用して、診断や創薬のためのプレジジョンメディシン (精密医療) に大きく貢献しています。本プログラムでは、情報通信技術の基礎をはじめ、セキュリティ、AI、画像処理、データサイエンス、情報システム開発、生命情報など、多様な情報通信関連の専門分野を学ぶことができます。あなたも一緒に学んでみませんか。



情報通信工学プログラム
准教授 井上健太郎 Kentaro Inoue



ココに
注目!

人工知能ブーム

ここ数年、AI、ディープラーニング、Python などのキーワードが含まれる書籍が、毎月のように出版されています。実に様々な書籍がありますので、自分に合う本を探してみてください。2020年から小学校でのプログラミング教育が必修化されるということもあり、このブームはまだ終わりそうにありません。もう少し先、20年後には何が問題になっているでしょうか。数学、英語、プログラミングが基本であることは変わりません。大学に入学したら、基本を身につけながら、これから発展しそうな分野を予測し、自分の進む方向を決め突進しましょう。



卒業後の主な進路

ソフトウェア、システム開発、
情報・電子機器製造、
情報通信に関連する産業、大学院進学

取得可能な免許、資格

■ 学芸員資格*1

*1 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

農学部 地球は愛と農学で回っている。

Faculty of Agriculture

環境問題、資源・エネルギー、生命、食料…。
私たちが直面している問題は、どれも農学が深く関わっている。
この美しい星を守るために、人類の未来と幸福を支えるために、
宮崎の恵まれた自然環境の中で、農学と真剣に向き合える。

2024年
農学部は
創立100周年
を迎えます

100th
Anniversary



農学部長
國武久登

農学部は、「持続可能な地域社会の構築と世界への発信-SDGsへの取り組みとデータサイエンスの融合-」というスローガンのもと、南九州の温暖な自然や地域社会と調和した農林水産業・獣医療の推進を通して、持続可能な社会の構築と、それを担う人材の育成を目指しています。また、植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境科学科、畜産草地科学科および獣医科学科の6つの学科で構成されており、お互いに連携しながら、皆さんの新たな興味や好奇心を引き出すようにカリキュラムが構成されています。

農学部の前身である宮崎高等農林学校が1924年に設置されて以来、時間と共に伝統と革新が融合した教育・研究組織となり、同窓生はまもなく2万人となります。記念すべき100周年を迎える農学部で共に学び、地球環境と食料生産の未来を創造しましょう。

■農学部 各学科

植物生産環境科学科

地球に優しく安全・安心な食料生産を目指す
食の安全・安心を追求し、グローバルな植物生産の知識と開発力・指導力を有する人材を育てる。

P45

森林緑地環境科学科

みどりの恩恵を科学する
自然環境保全と安全で快適な生活環境の形成、森林緑地の機能の解明と管理技術の確立を通してSDGsに貢献する。

P47

応用生物科学科

化学をツールに「生命・食料・環境」を科学する
地球規模で人類が直面すると予測される生命・食料・環境問題に応えるための人材を育てる。

P49

海洋生物環境科学科

海の未知を科学する
海の生物や環境の未来を柔軟に考え、無限の可能性を秘めた「海の力」を暮らしのイノベーションに変える。

P51

畜産草地科学科

家畜と草地の両視点から「考える」教育
畜産の知識を生かし、飼料の自給率向上をはかりながら、飼料資源をリサイクルする科学を確立する。

P53

獣医科学科

最先端の教育・研究環境で高い実践力を習得
専門科目ごとに設置されている11講座と附属動物病院が、他学科と協力しながら、獣医学を実践。

P55



■教育理念

農学部は、食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識の理解をもとに、広い視野で物事を考える総合的判断力や問題解決能力を涵養しつつ、社会の要請に応えるための農学に関する高度な専門性と技術を修得させ、それらに関する問題解決を通じて地域と国際社会に貢献できる人材を育成することを理念とする。

■教育目標

- 幅広い教養と食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識に加え、農学分野における高度な知識及び技術を用いて社会のさまざまな課題を探索し解決できる能力を養成する。
- フィールドにおける実践教育を推進し、農学分野において、地域と国際社会に貢献できる人材を育成する。
- 専門技術者としての倫理観、情報収集能力、文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を高める教育を行う。

■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

農学部では、その教育理念にもとづいた教育目標を達成するために、「知識・理解」、「思考力」、「表現力」、「主体性」、「協調性」、「学問への関心」を有する人材を求めています。このために、一般、総合型、学校推薦型、帰国生徒、社会人、留学生、編入学といった多様な入試を実施し、それぞれの入試においては、客観的で透明性のある方法によって入学者を公平に選抜します。

■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

農学部では、宮崎大学学務規則に規定する修業年限以上在学し、各学科所定の単位数を修得し、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士(農学)の学位を与える。(獣医学科は学士(獣医学)の学位を与える)

- 人間性・社会性・国際性:社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 主体的に学ぶ力:自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- コミュニケーション能力:相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
- 課題発見・解決力:課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。
- 知識・技能:学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

全学科に共通する知識・技能

- 文化、社会、自然、地域の理解:人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 農学に関する基礎知識:農学に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。

植物生産環境科学科

- 植物生産に関する基礎的・応用的知識:植物生産に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 生産環境に関する基礎的・応用的知識:生産環境に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識:環境調和型農業に関する基礎知識を有し、社会で活用できる。
- 植物生産と生産環境に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力:植物生産と生産環境に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を有し、社会で活用できる。

森林緑地環境科学科

- 森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力:森林・緑地の機能に関する広い知識を修得し、国内外の諸課題に対応できる。
- 自然環境や国土保全、水資源利用に関する基礎的・応用的知識:自然環境や国土の保全、水資源の安定的な利用など、安全で持続可能な国土づくりに寄与できる。
- 樹木・菌類、非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識:樹木・菌類、非生物材料等の特性を深く理解し、適切に活用することができる。
- 多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力:自然環境と生物資源利用の調和を目指した森林緑地管理を計画・実行できる。
- 環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力:環境と調和した材料の開発や緑化を実践できる。

応用生物科学科

- 数学および自然科学に関する基礎知識:数学および化学、生物などの自然科学について理解し、応用できる。
- 応用生物科学に関する知識:応用生物化学・微生物機能開発学・植物機能科学・食品科学・動物資源科学の5分野に関する基礎および専門知識を理解し、それを問題解決に応用できる。
- 技術者の社会的責任に関する理解:応用生物科学の知識・技術が社会に及ぼす影響を認識し、技術者として必要な責任ある判断と行動について考えることができる。
- 制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力:応用生物科学に関する課題解決のための筋道をデザインし、自立して仕事を計画的に進め、期限内に終わることができる。

海洋生物環境科学科

- 水圏(生物と環境)に関する専門的基礎知識と専門的知識の応用力:水圏(生物と環境)に関する専門的基礎知識を有し、その知識を社会で応用できる。
- 環境と食糧生産の諸問題に関する分析力:環境と食糧生産の諸問題を、データを基に分析できる。
- 環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する能力:分析した環境と食糧生産の諸問題を、解決に導くための貢献ができる。
- 専門分野における地域社会や国際社会で活躍できる能力:専門分野における地域社会や国際社会で、他と協力し活躍できる。

畜産草地科学科

- 草地・飼料の基礎的・応用的知識・技能:草地・飼料に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 家畜の基礎的・応用的知識・技能:家畜に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 資源・環境の基礎的・応用的知識・技能:資源・環境に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 食料・畜産業・農村の基礎的・応用的知識・技能:食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能を有し、社会で活用できる。
- 専門分野に関する国際性と課題解決能力:専門分野に関する国際性と課題解決能力を有し、社会で活用できる。

獣医学科

- 獣医専門知識:獣医師としての専門知識を有し、社会で活躍できる。
- 獣医的倫理観:獣医師としての正しい倫理観を有し、社会で活躍できる。
- 獣医の応用・実践・開拓力:獣医専門知識を生かして、応用・実践・開拓ができる。
- 地域・国際社会への貢献能力:獣医専門知識を生かして、地域や国際社会へ貢献できる。

■施設紹介



木花フィールド(農場)



田野フィールド(演習林)



住吉フィールド(牧場)



延岡フィールド(水産実験所)



附属動物病院



附属農業博物館

植物生産環境科学科

Department of Agricultural and Environmental Sciences



地 球の生態系・自然環境と農業生産との調和を図るための環境調和型農業に関する教育と研究を推進しています。また、安全で高品質な農産物を効率よく生産するための基礎知識や栽培技術を身に付けるためのカリキュラムと、植物生産と生産環境に関連した専門知識を国際的視野から深く学ぶためのカリキュラムを提供し、地域・世界の農業に貢献できる人材の養成を目指しています。

野菜栽培経験がなくても大丈夫 楽しく植物の知識を深められる



植物生産環境科学科 3年

吉野愛海 Manami Yoshino
宮城県 宮崎大宮高校出身

生物が大好きで、もっと植物のことを知りたくなって、学内にフィールドがある本学で植物のことを深めようと入学しました。大学に入って初めて土に触れ、作物栽培の実習は全くの初体験でしたが、先生方の丁寧な指導で楽しく授業を受けることができました。実家は農業とは無縁ですが、授業で栽培方法が学べますし、野菜園芸学では大根はどちらから摺り下ろすと辛みが強くなるかなど、生活に即した知識も学べるのが面白かったです。研究室は、植物病理研究室に所属。現在県内で問題になっているカンキツのウイルス病害に関する研究がやりたいですね。将来的には公務員の農業技術職になって、地域に貢献できればと考えています。



植物生産環境科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
専門教育科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	学部共通科目 ●基礎植物学 ●基礎生態学 ●基礎化学 ●基礎微生物学 ●基礎遺伝学 ●基礎環境資源経済学 ●スマートアグリ入門		植物生産科学実験 I 遺伝子増幅技術や組織培養、顕微鏡観察法など、植物や病害虫を分子・細胞レベルで解析する最先端手法を学びます。		
	専門基礎科目 ●植物生産環境科学概論 ●栽培学 ●植物生産環境科学基礎実験・実習 I・II ●GAP概論 ●生物情報処理学 ●野菜園芸学		農業・社会調査実習 生産現場や地域社会について調査し、地域資源の有効活用や地域社会の抱える問題について分析します。		
	●施設園芸学 農場実習 I・II 作物、野菜、果樹の栽培から収穫まで、無人田植え機、AIトラクター、農業散布ドローン、IoTセンサーなど様々な最新機器を使って実習を行います。	農場実習 I・II ●植物生産科学実験 I ●植物生産科学実験 II ●植物生産データエンジニアリング ●企画実習 ●昆虫生態学 ●農業動力機械学 ●果樹園芸学総論 ●雑草防除学 ●作物学総論 ●総合的害虫管理学 ●植物病理学総論 ●園芸利用学 ●栽培植物起源論 ●植物病理学各論 ●野菜園芸学各論 ●果樹園芸生理学 ●社会統計学 ●観賞園芸学 ●植物生産とデータサイエンス		農業・社会調査実習 ●農業政策論 ●作物生産学 ●生物生産機械学 ●生産流通施設学 ●生物応用力学 ●果樹園芸学各論 ●生物計測工学 ●水文・気象学 ●農業技術者倫理 ●農業経営学 ●植物バイオテクノロジー ●樹木生態生理学 ●グローバルアグリ体験講座 ●GAP指導員講座 ●土壌肥科学 ●国際農業論 ●植物遺伝・育種学 ●青果代謝生理学 ●農産物流通論 ●フィールド実践実習 ●生物生産システム工学	
		●学外体験実習 ●スマート農業インターンシップ		●専門英語 ●卒業論文	

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力及び指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人
- 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人
- 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人

ラボやフィールドで植物生産の基礎から先端技術まで学ぼう！

本学科では、これからの日本や世界の農業事情を見据えて、植物を主体としたミクロ(DNAなど)からマクロ(形態形成)の世界まで、そして植物の栽培(種まきから収穫まで)、さらに植物生産を取り巻く環境の改善や新たな農業技術開発に向けた応用研究などをラボからフィールドまで幅広く修学できます。最近では、農業現場で利用できるロボット技術やICT等の先端技術の開発にかかわる農業DX、農業生産工程管理(GAP)に対応するための体系的な専門知識や技術をそれぞれ実践的に学習できるカリキュラムを設定しています。宮崎県は農業県でもあるため、研究によって得られた成果や新たな技術がそのまま地域貢献につながり、それらをさらに世界へ向けて発信することが可能です。



植物生産環境科学科
講師 松尾光弘 Mitsuhiro Matsuo



ココに注目！

人工知能(AI)で未来の農業を変える!!

最近よく話題になる「人工知能(AI)」。AIは未来の農業を大きく変える予想されます。本学科では、AIを活用した野菜や果物の栽培・品質診断なども研究しています。具体的には、温室内の気温や日射量、養液濃度などを測るセンサーと手のひらサイズのコンピュータを組み合わせてデータを集積し、過去のデータから未来の植物の成長・状態を予測します。そして、ベテランの経験や過去の研究が反映された高品質な農業生産システムを作ろうとしています。また、果物をカメラで撮影し、過去の情報に

基づき画像で果物の内部の品質を予測診断する技術も研究しています。あなたもこれらの機器を使えばアイデア次第で農業×AIが始まりますよ。近い将来、だれでも身近で楽しいAI時代が来るかもしれません。



卒業後の主な進路

公務員、教員、試験研究機関、農業団体、醸造業、種苗会社、農業法人、食品製造加工業、食品流通業、外食産業、農薬医薬産業、緑化産業、肥料会社、天敵関連企業、農業機械関連産業、農産施設関連産業、国際協力機構(JICA)、金融業、マスコミ、自営(就農)、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 食品衛生監視員^{※3}
- 普及指導員^{※4}
- 自然再生士補^{※5}
- JGAP指導員^{※6}

- ※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
- ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
- ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
- ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。
- ※5 所定の科目の単位を修得し、関係機関に申請すると、資格を得ることができます。
- ※6 資格取得に関連する授業を受けることができるので、資格取得に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。

森林緑地環境科学科

Department of Forest and Environmental Sciences



私 たちの身近に存在する森林・緑地は、人類がこの地球上で生き続けるために必要な資源を生産する場であるとともに、快適で安全な生活を過ごすための環境を守るうえで欠くことのできない存在です。本学科では森林や農山村・都市・海岸域を含めた緑地の機能を探求し、持続的な農林業、豊かな自然環境、そして快適な生活環境との調和を目指した教育研究を行います。

環境問題に関係する森林 環境保全に関する学びを深めたい



森林緑地環境科学科 4年

阿部悠南 Yuna Abe
宮城県 石巻高校出身

世界の森林減少の問題を目にして、森林の保全と環境の関係が気になるように。ウェブサイトでは本学の情報を見た際に、私がやりたいことがあるのはここだと感じて志望しました。入学してみると、すぐ近くに演習林があり、実習する際にも近場で体験ができるのが良いですね。造林学の実習では、山の下刈りや間伐も体験。チェーンソーで木を一本切った体験は格別でした。森林の役割は、木材にして売るイメージが強いかもしれませんが、木を植えて国土を守るという点もあります。そんなさまざまな木材の利点を学べるのも本学科ならではの。本学は留学生も多いので、発表などで英語を聞くこともあります。選択すれば、測量士補や樹木医補などの資格も取得可能ですよ。



森林緑地環境科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門基礎科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学部共通科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎植物学 基礎生態学 基礎化学 基礎微生物学 基礎遺伝学 基礎環境資源経済学 スマートアグリ入門 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木学 構造力学 森林生態学 森林計測学実習 水文・気象学 森林計測学 環境リモートセンシング概論 遺伝生態学 測量学 樹木学実習 測量学実習 	<p>環境リモートセンシング概論</p> <p>森林や自然環境の把握に欠かせない電磁波を使ったリモートセンシング計測技術について、その仕組みや実用例を実習も交えて学びます。</p>	<p>森林保護学</p> <p>森林で発生する病虫害・獣害・気象害等の実例と発生メカニズムを学び、森林管理や緑化木管理の場でこれらに対処するための基礎的知識を身につけます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 基礎数学(森林緑地) 環境計測学 森林緑地環境科学概論 基礎物理学(森林緑地) 森林緑地フィールド実習Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 木本植物組織学 木本植物組織学実験 砂防学 森林利用学 木材工学 森林緑地空間情報学 樹木生態生理学 国土管理保全学 	<ul style="list-style-type: none"> 森林計画学 景観生態学 環境材料学 水資源管理学 造林学 専門英語 森林政策学 応用力学・水理学 森林保護学 水理学 土質力学 植生立地学 土壌物理学 流域防災保全学 環境材料学実験 森林細胞学実験 農山村環境計画学 植生調査実習 森林計画学実習 農地環境工学 森林土壌学実習 森林資源利用科学 学外研修 造林学実験実習 緑の野外実習 	<ul style="list-style-type: none"> 植物病理学総論 土壌肥科学 昆虫生態学 植物病理学各論 雑草防除学 総合的害虫管理学 	
専門科目	<p>木本植物組織学</p> <p>樹木の幹を構成する細胞や組織について学びます。環境に適応して樹木が成長するために、細胞分裂や分化、それらの制御について理解してもらいます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 環境データサイエンスとAI 森林緑地フィールド特別実習 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人
- 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探究心を有する人
- 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基盤学力を有する人
- 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人

森林を学ぶ場所として 宮崎大学はとても恵まれています。

宮崎県の森林面積は全国13位ですが、スギやヒノキなどの人工林蓄積は4位、素材生産量は面積が広大な北海道にはさすがに負けますが、次いで2位、国産材製材品出荷量は断トツの1位と、豊かな森林資源を背景に日本一活発な林業や木材産業があります。綾と祖母・傾・大崩の二つのユネスコエコパークがあるなど照葉樹林を中心とする天然の森は豊かですし、強烈な台風が来るため森林等の国土保全機能が重視される地域です。世界農業遺産の高千穂郷・椎葉山地域に見られるように、独特の文化を有し森林と共生する山村が九州山地に広がります。しかも、キャンパスから演習林まで車で20分ですし、日本美しの森お薦め国有林である加江田溪谷・双石山まで何と5分で着きます。



森林緑地環境科学科
教授 藤掛 一郎 Ichiro Fujikake



「就職力の高さの秘訣は “学科の充実したサポート体制”にあり」

森林緑地環境科学科では、公務員・民間企業問わず、就職支援に力を入れています。2022年度も、林野庁・各県の林業職・農業土木職を中心に17名が公務員試験に合格しました。森林林業や木材、農業土木・防災に関連する民間企業にも多数就職が決まっています。

本学科のカリキュラムは、林業、農業土木分野いずれの専門試験にも対応しているのが特徴であり、学科の講義を学べば自然と専門知識が身に付き、公務員や関連企業の就職に繋がるので、短期間の試験対策でも十分に合格が可能になります。加えて3年生になると配属先の研究室の教員が親身になって相談に応じるので早期に就職先を意識するようになり、早めの就職対策に取り掛かることができます。さらに本学独自の「公

務員就職説明会」、鹿児島大学と合同で開催する「林業・木材産業就職説明会」などの様々なサポート体制が、本学科の就職力の秘訣になっています。



卒業後の主な進路

公務員(農水省、林野庁、県、市町村など)、教員、林業、木材産業、農林業関連団体(森林組合系、土地改良事業団、JA系など)、環境・緑化・農業土木関連企業(建設コンサルタント、造園・建設会社)、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 普及指導員^{※3}
- 林業普及指導員^{※3}
- 自然再生士補^{※4}
- 樹木医補^{※4}
- 測量士補^{※4}
- 森林情報士2級^{※5}

※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。

※4 所定の科目の単位を修得し、関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

※5 所定の科目の単位を修得し、別途条件を満たして関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

応用生物科学科

Department of Biochemistry and Applied Biosciences



バ イオサイエンス分野の最先端技術を用いた生物の機能解明と活用、食品の機能と利用法及び安全性について探求しています。その研究対象は動物、植物、微生物、これらを活用した食品ならびにそれらを育む土壌・生態系にまで及び、最先端のバイオテクノロジーを駆使した研究を通じて、生命・食料・環境に関する幅広い知識を学ぶことができます。

微生物から食品まで 食品の化学変化を解明する面白さ



応用生物科学科 3年

山村実央 Mio Yamamura
宮崎県 宮崎学園高校出身

本学科は微生物から食品まで幅広く学べるのが魅力です。私自身オープンキャンパスで、本学科の榊原啓之先生が生物系全般を学べると紹介していたのにひかれて志望しました。幼いころからお菓子作りが好きなのですが、授業でメレンゲを作る際、卵白に少しずつ砂糖を入れる理由が分かりましたし、食品の中で化学変化がどう起こっているか解明できるのが楽しいです。生物化学では、呼吸の仕組みを学び、体の中は複雑だけど、効率的な仕組みになっていると分かりました。このように食品はもちろん微生物や体のことなど幅広い化学が学べ、1、2年から実験が多いのも魅力です。化学が苦手でも、基礎からしっかり教えてもらえて、好きをバックアップしてくれますよ！



応用生物科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等				
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)				
専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)				
	学部共通科目 ●基礎植物学 ●スマートアグリ入門 ●基礎動物学 ●基礎遺伝学	生物化学II 生体の恒常性を維持する様々な代謝反応について、有機化学や物理化学の知識を土台に、各代謝反応を特に生体エネルギーの観点から化学的に学びます。			
	基礎科目 ●基礎化学(応用生物科学) ●生命化学概論 ●基礎微生物学(応用生物科学) ●有機化学 ●無機化学 ●生物化学I	専門基礎科目 ●物理化学 ●生物化学II ●分析化学 ●有機化学実験 ●生物有機化学 ●微生物学実験 ●食品化学 ●生物化学実験 ●分析化学実験			●技術者倫理
	食品化学 食品を構成している主要成分の化学的性質について、食品の具体例を挙げて説明するとともに、食品成分の加工・貯蔵中の変化について学びます。	●食品製造学 ●土壌肥料学 ●酵素化学 ●植物遺伝・育種学 ●食品分析化学 ●微生物化学	微生物化学 微生物の物質代謝である各種発酵の化学機構、生理活性物質及び各種発酵生産のバイオテクノロジー分野について学びます。	●食品衛生学 ●食品保藏化学 ●栄養化学 ●入門セミナーII ●入門セミナーI ●化学英語II ●化学英語I ●生物機能科学実験 ●食品製造学・衛生化学実験 ●食品機能化学実験 ●生物工学実験 ●食品工学 ●応用生物化学実験 ●農産食品製造学 ●植物生理学 ●遺伝子工学 ●細胞工学 ●学外研修 ●微生物機能開発学 ●植物遺伝資源学 ●公衆衛生学 ●宮崎の地域活性化演習 ●畜産食品製造学 ●畜産食品科学 ●水産食品製造学 ●植物栄養生化学	●バイオサイエンス ●科学英語 ●卒業論文

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学及び自然科学に関する基礎知識、応用生物科学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 化学をはじめとする自然科学に対して強い興味と探究心をもっている人
- 化学や生物などの理科(自然科学)や数学、英語などの基礎学力を備えている人
- 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを実現する力をもっている人
- 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人

化学をツールとした 第一線の知識に触れてみませんか？

私たち応用生物科学科では、生命、微生物、植物、食品、動物資源といった多種多様で最先端な学問を、化学をツールとして学ぶことができます。例えば、私の所属する食品科学領域では、健康寿命延伸を目指して食品に秘められたチカラである機能性を探求しています。このように私たちの学科で学んだことは、今後私たちが直面するであろう生命・食料・環境問題を解決するために必要不可欠な知識となってきます。そして、身につけた知識を実際の社会に出た際に応用し、これらの社会問題を解決することができる人材の育成を目指しています。私たちと一緒にこの応用生物科学科で、みなさんが主役となる時代で活躍できる能力を身につけてみませんか？



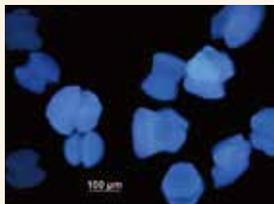
応用生物科学科
助教 横山大悟 Daigo Yokoyama



応生発！最先端研究の紹介

世界初！好熱性細菌のバイオミネラリゼーション

高温にて有機性廃棄物を酸に変換する微生物を探していたところ、細胞外に美しい形をした結晶を形成する細菌が偶然見つかりました。この細菌は60℃で活発になり、ギ酸とカルシウムのみからカルサイトと呼ばれる無機結晶を作ります。生物が鉱物を形成することをバイオミネラリゼーションといいます。この細菌はなんのためにそのようなことをしているのか明らかにしようとしています。地球深部の高温下では微生物起原の石灰岩が作られているのかもしれないですね。またこのカルサイトには蛍光特性があるので希土類を使わない蛍光体としての応用が期待されています。



カルサイトが蛍光を発する様子

根粒菌の力をダイズ生産へ応用する！

作物生産のための窒素肥料は欠かせないものですが、マメ科植物と根粒菌は大気窒素を利用して生育することができます。共生窒素固定として有名なこの生物機能を農業生産に応用するために、ダイズの形質と共生窒素固定細菌の分子生態研究を行っています。近年、ダイズと根粒菌の親和性を支配する宿主遺伝子や根粒菌の地理的分布が明らかとなりました。これらの研究を通じて生物の生態機能をダイズ生産へ応用できるようになりつつあります。



根粒菌がダイズに感染する様子

卒業後の主な進路

食品製造業、流通業、醸造業、医療・製薬関連企業、化学工業、環境化学関連企業、農業関連団体、公務員、教員、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)^{※1} ■ 学芸員^{※2} ■ 食品衛生監視員^{※3}
- 食品衛生管理者^{※3} ■ 普及指導員^{※4} ■ 毒物劇物取扱責任者^{※5}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。
 ※5 卒業後、勤務先の毒物劇物を取り扱う製造所、営業所または店舗で必要とされる場合に、この資格をもつことができます(受験等の必要はありません)。

海洋生物環境学科

Department of Marine Biology and Environmental Sciences



海が誕生してから、地球は他の惑星と異なる道を歩み始めました。海洋は地球環境の恒常性を担い、生物・非生物の未利用資源に満ちています。海洋を含む水圏環境について深く学び、その生物の多様性と利活用を理解・修得することによって、広く人類の未来について思索し、地域ばかりでなく、国際社会に貢献できる人材育成を目指します。

海が近い最高の環境で学べて 海に関する知識と技術が身に付く



海洋生物環境学科 4年

川島 愛生 Namiki Kawashima
神奈川県 桜丘高校出身

海が好きで海洋生物について学びたいと思いました。本学科は、海に関するさまざまな分野に精通している教授陣がそろい、自分がどんな分野に関心が高いかを探ることができます。実習も多いため、知識だけでなく技術も身に付きます。また、水産分野のことだけを学ぶのではなく、学科を飛び越えて、森林・植物学から獣医学のことまで様々な授業を受けられて楽しいです。幅広く海のことに関わりたいため、部活動でもウインドサーフィン部とウミガメ調査のサークルに入っています。またプライベートでもダイビングで海に潜って、毎回新しい発見があります。将来は仕事でも海に関われたら最高です。

海洋生物環境学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学部共通科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学 基礎微生物学 ● 基礎化学 スマートアグリ入門 ● 基礎遺伝学 			
	専門基盤科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 海洋生物環境学実習 海洋生物環境学基礎実験 海洋生物環境学概論 ● 海洋生物分類学 		<ul style="list-style-type: none"> 環境微生物学 ● 海洋生物探査講座 	
	<ul style="list-style-type: none"> 水産食品科学 ● 水域生物生理学 		<ul style="list-style-type: none"> 水生生物解剖分類学実験 ● 水産化学 基礎水域化学 ● 水族生理学実験 ● 魚類学 水産化学実験1 ● マリンバイオテクノロジー 水生生物生体防御学 ● 魚類生理学 サンゴ礁学 ● 基礎増養殖学 ● 無機化学 水産食品微生物学 ● 組織学 マリンダイビング論 ● 化学概論 浅海生態学 ● 生物学概論 ● 水族館学 海洋生物学実習 	
	海洋生物学実習 延岡フィールド周辺の海域に棲む生物を採集し、分類学の基礎知識を実物から学びます。集めた生物と知識により、ミニ水族館展示も企画・運営します。		海洋生物探査講座 鹿児島大学の練習船「かごしま丸」に乗船し、東シナ海周辺で海洋観測やプランクトン観察および底引き網漁を体験する7日間の乗船実習です。	
	水族生産学体験講座 水産に関わる最先端の研究施設・養殖施設などを見学し、水産の現場を実際に学ぶ授業です。現場を知り、様々な課題を肌で感じ、将来に役立ちます。		<ul style="list-style-type: none"> 海洋代謝化学 ● 生物化学I ● 海洋微生物学実験 水産遺伝子工学実験 ● 食品化学 ● 水産増養殖学 水産飼科学 ● 海洋生物遺伝学 ● 魚病学 水族病原微生物学 ● 海洋分子科学 ● 水産化学実験II 微生物との共生 ● 海洋生物生産学 ● 魚類生態環境学 昆虫生態学 ● 遺伝子工学 ● 水文・気象学 森林生態学 ● 分析化学 ● 専門英語 食品衛生学 ● 公衆衛生学 水族生産学体験講座 ● 水産科教育法 	
			<ul style="list-style-type: none"> 水産法規 藻類分類学 	
			<ul style="list-style-type: none"> 漁業学概論 水産経済学 	
		<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文 		

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、現場と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人
- 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人
- 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人
- 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人

海の未知を探求し、 最大限に楽しみ・活かす

海洋生物環境学科は、少人数教育が特徴の一つです。最先端の研究を、他分野にわたり行う教員がそり、海洋資源、生物および環境について深く学び、社会に還元します。学生は、分類、保全、生理、病気、化学など多種多様な分野を学ぶことで、幅広い知識と専門性を高め、社会で活躍する人材となっていきます。座学で知識を学び、臨海実験施設、養殖関連施設での実習や、乗船実習などで実践力を身に付けます。宮崎という温暖かつ温かな環境で、安心した学生生活が送れることも魅力です。私の研究室では、魚が海で生きるための体内のしくみを研究します。革新的な養殖法の開発だけでなく、難病の発症機構にも研究をつなげ、水産および医学分野への貢献を目指しています。



海洋生物環境学科
助教 宮西 弘 Hiroshi Miyanishi



ココに
注目!

プラスチック その正体は“ミドリムシ”!

水たまりや水田でよく見られる0.1mm以下の単細胞生物ミドリムシ。本学科の林雅弘先生と産業技術総合研究所が共同研究を行い、この度、ミドリムシを主な原料としたバイオプラスチックの開発に成功しました。このプラスチックは、ミドリムシが体内で作出した物質に、カシューナッツの殻から取り出した成分を加えて合成されたもので、成分の約70%が植物性のためこれまでのプラスチックより製造の際に排出される二酸化炭素が削

減できるとされています。また、素材としての性質も、加工性がこれまでのプラスチックと同レベル、耐熱性はこれまでのもの以上とのことです。実用化にはまだ課題があるようですが、この環境に優しいバイオプラスチックが近い将来、身の回りで普通に使われるようになることを期待しています。



卒業後の主な進路

水産物・食品・飼料製造流通関連企業、
漁運・漁協等団体、船舶会社、医薬品関連企業、水族館・博物館・海洋観光産業、
公務員、教員、環境アセス・コンサルタント、試験・研究所、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(水産、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生監視員^{※3}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 潜水士^{※4}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。

畜産草地科学科

Department of Animal and Grassland Sciences



全国から動植物に興味のある学生が集まり、自給飼料に立脚した家畜生産や、安全で美味しい畜産物を食卓に提供するための研究を行っています。対象となる分野は幅広く、野生生物・環境保全の場としての草地生態、遺伝資源利用、地球環境の保全、フードチェーンにおける衛生管理等、多岐にわたります。学んだことは実験動物や展示動物の管理にも応用できるでしょう。畜産と草地の両方の視点を身につけて、将来に活かしたい人を歓迎します。

牛や豚などの大動物に 近距離で触れ合える実践型が魅力



畜産草地科学科 3年

日野翔馬 Syoma Hino
愛媛県 新居浜西高校出身

将来は動物園の飼育員というのが私の夢。地元の動物園の飼育員に相談して、勧められたのが本学科でした。入学してみると、実際に農場に入っの搾乳や、体重測定など畜産の現場での作業を体験できます。これほど近距離で触れ合えるところも少ないと思います。授業では牧草の根に共生する菌や微生物のことも扱い、幅広い観点から畜産を学びます。さまざまなアプローチで学べるため、興味が深まります。私自身は安在弘樹先生の「草地システム生態学」の授業が特に面白いと感じています。入学前は動物の飼育員を志望していましたが、今では公務員として畜産関係の仕事に就くのも良いなと思っています。動物の福祉も学べる本学で、未来のための勉強を深めたいですね。



畜産草地科学科 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)等			
	課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)			
専門教育科目	学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)			
	学部共通科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学 基礎微生物学 ● 基礎化学 スマートアグリ入門 ● 基礎遺伝学 			
	専門基盤科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 畜産草地科学序説 ● 畜産草地科学基礎化学 畜産草地科学基礎実習 ● 畜産草地科学概論 草地・草原環境保全・修復学 ● 動物行動学 畜産草地科学基礎実験 ● 動物生理学 I 			
畜産学	<ul style="list-style-type: none"> 土壌管理学概論 ● 植物バイオテクノロジー 栽培学 ● 動物環境管理学実験 			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 家畜栄養学 ● 草地システム生態学 ● 牧場実習 II ● 畜産食品科学 ● 環境草地学 ● 草類利用学 ● 飼料作物学 ● 衛生微生物学 ● 動物環境管理学 ● 飼料学 ● 動物育種資源学 ● 家畜栄養学実験 ● 草類遺伝資源・育種学実験 ● 食品化学 ● 動物遺伝育種学実験 ● 草類利用学実験 ● 食品製造学 ● 草地畜産論 ● 畜産食品科学 ● 水文・気象学 ● 分析化学 ● 草地生産・生態学実験 			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物生殖生理学 ● 動物生殖制御学 ● 動物育種学 ● 専門英語 ● 無機化学 ● 草地・飼料作物管理・評価実習 ● 家畜飼養管理学 ● 動物生理生理学実験 ● 食品衛生学 ● 動物生理学 II ● 地域環境保全論 ● 実験動物学 ● Tropical Forage Science and Biotechnology ● 薬理学 I ● 動物解剖学実習 ● 草地植生管理学 ● 農業経済学 ● 放牧生態学 ● 公衆衛生学 ● 動物福祉学 ● 動物解剖学 I・II ● 野生動物・動物園学 ● 畜産食品製造学 ● 動物衛生疾病学 ● 家畜飼養管理学 ● 有機化学 ● 動物衛生学 ● 食品分析化学 ● 実験動物学各論 ● 食品保藏化学 ● 学外体験実習 ● 畜産簿記学 ● 産業動物経営学 ● 産業動物情報解析演習 ● 牧場実習 II 			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 実験動物学実習 ● 毒性学 ● 市場動態調査実習 ● 家畜登録審査実習 			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 草地学特別講義 ● 草地環境科学特別講義 ● 畜産学特別講義 I・II 			
<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業論文 ● 卒業研修 				

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 動植物に対する幅広い興味や関心を有する人
- 大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人
- 実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人
- 資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人
- 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人



畜産草地科学科
教授 飛佐 学 Manabu Tobisa

温暖な宮崎で動植物の生産・生態や環境との関わりを学ぶ

本学科には12の教育研究分野があり、また西日本最大級の附属牧場を有しています。温暖な気候を活かし、動物と植物を総合的かつ横断的に学ぶ教育や最先端の研究が、地域の生産現場や附属牧場を活用し行われています。例えば、畜産物の生産に欠かせないものの一つが飼料で、飼料の多くは植物に由来しています。飼料となる植物の質や生産量は畜産物全体の質、生産性や生産コストに大きく影響します。植物の生産量や質の向上には、土壌や土壌微生物などまわりの生物や環境なども深く関わっています。

さまざまな視点から動物と植物、これらを取り巻く生物や環境との関係を理解し、今ある課題を解決するために、共に学び、研究しませんか？



ココに注目!

西日本最大級の大学附属牧場施設での実践教育

農学部附属住吉フィールドは、宮崎市中心部の北約10kmに位置し、交通の便利な市街地にありながら総面積50 haの敷地と約300頭の家畜(乳牛50頭、繁殖母牛50頭、子牛60頭、肥育牛40頭、豚100頭)を有する西日本最大級の大学附属牧場施設です。住吉フィールドでは、広大な敷地を利用した粗飼料ほぼ自給の実績を活かして、家畜生産のみならず飼料生産から畜産物利用、防疫や衛生管理など、食と農の安全に関する総合的な知識・技術を実践的に学習することができます。牧場実習や動物環境管

理学実験など、本学科のさまざまな実習・実験で利用するだけでなく、学生の卒業論文や各種研究を行うための拠点にもなっています。また、大学独自ブランドとして、「宮崎大学Milk」や「宮崎大学Beef」の生産・販売を行っています。



卒業後の主な進路

公務員、農業関係団体、試験・研究所、飼料・種苗会社、畜産食品加工・流通、畜産業(牧場)、草地畜産コントラクター、緑地・緑化産業、環境アセス・コンサルタント、教員、動物園、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 食品衛生監視員^{※3}
- 飼料製造管理者^{※3}
- 普及指導員^{※4}
- 家畜人工授精師^{※5}
- 実験動物一級技術者^{※6}

※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
 ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
 ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。
 ※5 所定の科目の単位を修得し、その他所定の要件を満たした人は卒業後に資格を得ることができます。
 ※6 所定の科目の単位を修得すれば、4年次に受験することができます。学科および実地の両試験に合格した者は、認定登録申請により実験動物一級技術者の資格を得ることができます。

獣医学科

Department of Veterinary Sciences



獣 医師国家試験に対応する獣医学教育を基本として、動物の疾患の予防・治療に関わる獣医師、動物と人の共通感染症の防御を通じて動物と人の健康・福祉に貢献する獣医師を養成します。なかでも、南九州の特色である産業動物獣医師の養成に力を入れています。また、平成22年度にはわが国で初めて医学と獣医学が融合した大学院(医学獣医学総合研究科)が設置され、先進的な獣医療を実施する高度獣医師育成コースや国際的に活躍できる研究者育成コースへの進学が可能です。

口蹄疫を経験した宮崎で 牧場などで体験しながら学べる



獣医学科 5年

松岡 瑞穂 Mizuho Mastuoka
岡山県 岡山白陵高校出身

宮崎で起こった口蹄疫をニュースで見えており、何かできるのではと本学を志望しました。入学してみると、大学内の近いところに牛や豚がいますし、牧場でのフィールドワークもあるため、直接動物に触っての手術経験や、現場に行くことも多いです。大動物のイメージがある本学科ですが、臨床系の研究室では小動物の研究もできます。獣医師を目指した理由が、ハムスターの飼育経験からということもあり、大動物の面白さを感じながらも小動物の臨床に進みたいと思うように。今は研究室に通い、附属動物病院の入院の世話や手術の準備などを行っています。手術にも入り、器械出しや麻酔も積極的に手伝い勉強中です。犬猫だけでなくエキゾチックアニマルも触れる獣医師になりたい。



獣医学科 カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
基礎教育科目					
導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)					
課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)					
学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)					
学部共通科目		獣医動物行動学			
<ul style="list-style-type: none"> 基礎植物学 ● 基礎生態学 ● 基礎動物学 基礎微生物学 ● 基礎化学 ● 基礎遺伝学 基礎環境資源経済学 ● スマートアグリ入門 		犬や猫、産業動物を中心に、獣医学が対象とするさまざまな動物種について、行動様式や行動の起こるしくみ、そのしくみが発達する過程などを学びます。			
専門基礎科目		基礎獣医学			
<ul style="list-style-type: none"> 動物育種資源学 ● 畜産草地科学概論 家畜栄養学 ● 環境草地学 畜産草地科学序説 ● 動物環境管理学 ● 飼料作物学 		<ul style="list-style-type: none"> 動物育種学 ● 技術者倫理 基礎獣医学 解剖学 I・II ● 獣医学概論・獣医学史 動物生理学 I・II・III ● 組織学 発生学 ● 動物遺伝育種学 解剖学実習 ● 組織学実習 ● 実験動物学 獣医遺伝学 ● 生理化学 ● 薬理学 I 獣医実験動物学実習 			
獣医学概論・獣医学史		病態獣医学			
獣医学の理念や歴史を学ぶとともに、現役の獣医師の方々を外部講師として招き、社会的ニーズや、獣医師の職域の多様性、獣医師の責務を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> 免疫学 ● 動物病理学 I ● 微生物学概論 微生物学各論 I ● 寄生虫学 ● 寄生虫学実習 動物病理学 II・III ● 微生物学各論 II ● 動物病理学実習 I 魚病学 ● 動物病理学実習 II ● 魚病学 動物感染病学 ● 動物感染病学実習 臨床寄生虫病学 			
産業動物参加型臨床実習		応用獣医学			
地域の畜産農家さんのものを教員や獣医師とともに訪れ、実際の臨床現場において診断方法、適切な治療法などを学びます。		<ul style="list-style-type: none"> 野生動物医学 動物衛生学 ● 毒性学 ● 毒性学実験 獣医臨床学概論 I 畜産学実習 ● 放牧生態学 獣医臨床学概論 II ● 産業動物臨床学 ● 馬臨床学 獣医臨床学各論 I~III ● 臨床繁殖学 I・II 小動物内科学実習 ● 獣医外科学実習 I ● 臨床繁殖学実習 その他 講座専修実験 I・II ● 獣文獣医学演習 I・II 伴侶動物参加型臨床実習 I ● 産業動物参加型臨床実習 			
獣医臨床学特別講義		臨床獣医学			
獣医インターンシップ		<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生行政学 ● 獣医公衆衛生学実習 人獣共通感染症学実習 臨床診断治療学 I~III 獣医外科学実習 II 産業動物・画像診断学実習 			
卒業論文		アドバンス産業動物学			
		<ul style="list-style-type: none"> アドバンス産業動物学 I~III アドバンス応用獣医学 I・II アドバンス伴侶動物学 I・II 			

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。



- 自然科学に対する幅広い興味や関心を有している人
- 学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力をもっている人
- 自然科学をはじめ、様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力がある人
- ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人



獣医学科
准教授 齊藤 暁 Akatsuki Saito

地域、世界で活躍できる 獣医師の養成を目指して。

獣医学科では、獣医師国家試験受験資格の獲得を見据えて、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学を多面的に学び、獣医師になるために必要な知識、技術の習得に努めます。本学科の卒業生は臨床獣医師、公務員獣医師、企業、研究職など幅広い分野で活躍しています。

3年生の終わりから始まる研究室活動では、分子レベルの研究から大動物の臨床まで、自分の興味、科学的指向に沿った研究を進めていきます。卒業論文の作成に取り組むなかで、科学的思考やプレゼンテーション能力が身に付きます。本学科には、さまざまなバックグラウンドを持つ教員がおり、とても刺激的な学生生活を送れると思います。獣医師を目指す皆さん、ぜひ本学科で学んでみませんか。



ココに
注目!

宮崎で学ぶ実践教育 - Miyazaki + (プラス)連携教育で獣医師の育成 -

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムが制定され、わが国の獣医学教育が大きく変わりつつあります。その中で宮崎大学が培ってきた獣医師育成の土台は変わることなく、実践的な教育を主体とした、自主的に学ぶ素地を身に付けた学生を育むことです。附属動物病院での診療に参加し症例から学ぶ臨床教育や人獣共通感染症教育・研究プロジェクトを軸にした感染症/防疫に関するユニークな教育、基礎～応用に段階的に進む充実したカリキュラム・マップ、南九州に根ざした“触れる”産業動物教育、など豊富な教育コンテンツを有する宮崎大学で獣医師への一歩を踏み出してみませんか。

また、東京大学、大阪公立大学との連携教育により講師派遣および遠隔講義を実施しており、これまでに感染症学、薬理学、臨床などの各分野で強みのある専門教育を相互に提供しています。この連携教育での講義は都市型と地方型の異なる問題解決能力を学び、それぞれに還元する有意義な教育材料となっています。



小動物臨床教育風景
(附属動物病院における伴侶動物臨床実習)



イルカCTの撮影風景
(イルカ生体でのCT検査の様子)

卒業後の主な進路

伴侶動物の臨床(イヌ、ネコなどの獣医師)、
産業動物の臨床(ウシ、ブタなどの獣医師)、
医薬品会社(営業職、研究職など)、飼料会社、
公務員(公衆衛生など)、大学院進学 他

※多くの場合、獣医師免許を取得することを条件に、面接などの採用試験を受験し、採用の可否が決定されます。

取得可能な免許、資格

- 獣医師(国家試験受験資格)^{※1}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生監視員^{※3}

※1 所定科目の単位を取得すると、獣医師国家試験の受験資格を得ることができます。

※2 所定の単位を修得し、申請すると「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。

地域資源創成学部 地域を創るリーダーになろう！

Faculty of Regional Innovation

～自分と地域の将来のために、今、ここでマネジメント力を磨く～

「企画力」「実践力」の育成を図り、地域の活性化に不可欠な社会を牽引するイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、地域から要望が高い、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目指します。



地域資源創成学部長

桑野 斉

我が国では人口減少・少子高齢化を背景にさまざまな課題が山積し、持続可能なまちづくりが困難になった地域が増大しています。このため、地域資源の積極的な活用を通じ、地域課題の有効な解決策を創出していくことが極めて重要なテーマになってきています。「地域資源創成学」は、こうしたテーマを総合的・学際的に研究する新たな学術分野であり、本学部では、地域が抱えるさまざまな課題解決に向け、新たなソリューションやイノベーションに関する研究を積極的に進めています。

この「地域資源創成学」には、異分野を融合し、学術と実務の垣根をこえた視点や取組が必要になります。このため本学部では、宮崎県内の地域社会や地方自治体と連携し、地域資源や地域課題の実態に即したダイナミックな教育プログラムを提供しています。地方創生や地域課題解決に関心・意欲・熱意をもった方に入学していただき、将来の地域を支える人材として、高い専門的能力を培っていただくことを期待しています。

■ 地域資源創成学部 各コース

2年後学期から、以下の3つのコースに分かれ、それぞれのカリキュラムに沿った教育が行われます。

- 企業マネジメントコース
- 地域産業創出コース
- 地域創造コース

※各コースの説明は60ページ





今日、我が国の地域社会は、少子高齢化・人口減少、グローバル化、さらには地方分権の進展と厳しい財政状況等様々な課題に直面しています。特に、少子高齢化が加速度的に進行する中山間地域を抱え、後継者不足や若者の県外流出、グローバル化に伴う産業間競争の激化により地域社会経済全体が衰退傾向にある宮崎県などの地域では、持続可能な地域創成と地域産業の振興に向け、地域資源を経済的価値に転換できる仕組みや、国内外市場の開拓やリネージュ構築、地域活動の有機的連結とその活性化を実現できる人材の存在が強く望まれています。

地域資源創成学部では、マネジメントの専門知識と社会・人文科学、及び農学・工学分野の利活用技術の基礎知識を教授する異分野融合のカリキュラムを構築するとともに、研究者教員と実務家教員とが協働した実践的教育、宮崎県全域をフィールドとした実習や国内・海外インターンシップによる地域の方々と一体となった協働教育を導入しています。

■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

(求める学生像)

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意(学問への関心)を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力(知識・技能)を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

地域資源創成学部は、宮崎大学学務規則に規定する修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、以下の素養を身につけ、かつ、卒業研究の審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士(地域資源創成学)の学位を与えます。

1. 人間性・社会性・国際性：社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。

- (1) 倫理観：自己の良心と社会の規範やルール、モラルに従って行動できる。
- (2) チームワーク：他者と協調・協働して行動できる。
- (3) 多文化・異文化理解：多文化・異文化に関する知識を理解できる。

2. 主体的に学ぶ力：自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。

3. コミュニケーション能力：相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。

- (1) 言語リテラシー：日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- (2) 他者理解・自己表現力：相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。

4. 課題発見・解決力：課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析して、その課題を解決できる。

- (1) 情報リテラシー：情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、効果的に活用することができる。
- (2) 問題解決力：人々と広く協働し、地域の資源や状況をよく理解・分析することで問題解決に導くことができる。

5. 知識・技能：学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

- (1) 地域資源創成のために必要なマネジメントの専門知識を有している。
- (2) 地域資源創成のために必要な社会・人文科学、及び農学・工学の利活用技術の基礎知識を有し、複眼的な視野から地域資源の価値を捉えることができる。
- (3) 以下*のいずれかの人材養成像に対応した、地域資源を活用し、新たな価値を創成する企画力・実践力を有している。

※60ページ「地域資源創成学部の養成する人材像」参照



地域理解実習(青島)



地域探索実習 I (日之影)



地域探索実習 II (都城)

地域資源創成学科

Department of Regional Innovation



経 営の視点をもって地域を持続的に発展させる方法を考え、実践できる人材を育てます。そのために、法学・経済学・社会学・農学・工学などの幅広い学びを提供して、より深く地域を理解し、革新的な価値を創出できる教育を行います。さらに実践力を鍛えるために、地域での実践を行う実習を数多く用意しています。

現場を経験する機会が多く 多角的視点を持てるように

地域資源創成学科

- 4年 古藤 凜 Rin Koto
大分県 大分雄城台高校出身
- 3年 上船 真希 Maki Uefune
鹿児島県 鹿児島第一高校出身
- 3年 田原 隆之介 Ryunosuke Tahara
福岡県 筑前高校出身

スポーツツーリズムに興味があり、将来はスポーツで地域を盛り上げる仕事に就ければと語る上船さん。理系が苦手と理系に進むのはあきらめたものの、本学科で理系的な研究にも関わることが魅力だと田原さん。現在、海洋プラスチック汚染について研究しているゼミに入り、データ分析など理系寄りの作業もしているのだそう。古藤さんは、これから将来を考える人にとって、マーケティングや農学、食糧学、社会学など幅広い分野を学び、選択の幅を広げられることは、大きな魅力だと思います。3人とも、現場を経験しながら視野が広がり、多角的な視点で考えられるようになったといいます。社会に出て役立つ力がついたと自負しています。



地域資源創成学部 カリキュラム

※2023年度入学生のカリキュラムとなります。

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)
専門科目 ●地域理解実習(1) ●地域探索実習Ⅰ(1) ●地域探索実習Ⅱ(1) ●地域創造概論(2) ●地域創造概論(2) ●企業マネジメント概論(2)		コアアドバンスト科目 ●マネジメント実践Ⅰ(2) ●マネジメント実践Ⅱ(2) ●マネジメント実践Ⅲ(2) ●会計学Ⅱ(2) ●組織論Ⅱ(2) ●経営戦略論Ⅱ(2) ●マーケティング論Ⅲ(2) ●ベンチャービジネス論(2) ●貿易論(2)		卒業研究 ●卒業研究		卒業研究 ●卒業研究	
基礎教育科目 ●地域学基礎(2) ●地域社会学概論(2) ●法学入門(2) ●地域資源論(1) ●簿記論(2) ●PBLⅠ(2)		基礎教育科目 ●経営学概論(2) ●マーケティング論Ⅰ(2) ●会計学Ⅰ(2) ●プロジェクトマネジメント(1) ●企業家精神とイノベーション(1) ●地域経済学(2) ●マクロ経済学(2) ●ミクロ経済学(2)		基礎教育科目 ●食品学総論(2) ●風景と景観論(2) ●デザインプランニング(2) ●フードコンシャスネス論(2) ●生物科学実習(2) ●地域食文化論(2)		基礎教育科目 ●マネジメント実践Ⅱ(2) ●マネジメント実践Ⅲ(2) ●企業経営分析(2) ●ビジネスプランニング(2) ●ICTと地域産業(2) ●質的社会学研究法(2) ●国際経営論(2) ●技術経営論(2)	
基礎教育科目 ●コミュニケーション概論 ●数学基礎		基礎教育科目 ●統計学基礎 ●社会調査法		基礎教育科目 ●地域創造実践Ⅰ(2) ●地域創造実践Ⅱ(2) ●地域創造実践Ⅲ(2) ●地域産業政策論(2) ●環境科学概論(2) ●地域・防災まちづくり(2) ●コミュニティ政策論(2) ●フェイクニュース基礎Ⅰ(2) ●行政法(2)		基礎教育科目 ●地域創造実践Ⅱ(2) ●地域創造実践Ⅲ(2) ●地域産業政策論(2) ●環境科学概論(2) ●地域・防災まちづくり(2) ●コミュニティ政策論(2) ●フェイクニュース基礎Ⅱ(2) ●家族と法(2)	
導入科目 ●英語a1 ●英語b1 ●情報・データリテラシー ●大学教育入門セミナー ●初修外国語(中国語・韓国語・仏語・独語)		導入科目 ●英語a2 ●英語b2		導入科目 ●英語a2 ●英語b2		導入科目 ●英語a2 ●英語b2	
課題発見科目 ●専門教育入門セミナー ●現代社会の課題 (1科目を選択)		課題発見科目 ●環境と生命		課題発見科目 ●環境と生命		課題発見科目 ●環境と生命	
専門発展科目 ●PBLⅡ(2) ●海外短期研修(2) ●国内インターンシップ(2)		専門発展科目 ●PBLⅡ(2) ●海外短期研修(2) ●国内インターンシップ(2)		専門発展科目 ●PBLⅡ(2) ●海外短期研修(2) ●国内インターンシップ(2)		専門発展科目 ●PBLⅡ(2) ●海外短期研修(2) ●国内インターンシップ(2)	
学スキル発展科目 ▲外国語科目		学スキル発展科目 ●ビジネス英語Ⅰ-1 ●ビジネス英語Ⅰ-2		学スキル発展科目 ●ビジネス英語Ⅱ-1(2) ●ビジネス英語Ⅱ-2(2) ●特別英語Ⅱ(2)		学スキル発展科目 ●ビジネス英語Ⅱ-1(2) ●ビジネス英語Ⅱ-2(2) ●特別英語Ⅱ(2)	
必修科目		必修科目		必修科目		必修科目	
選択必修科目		選択必修科目		選択必修科目		選択必修科目	
コース別必修科目		コース別必修科目		コース別必修科目		コース別必修科目	
地域・学際系科目、自然科学系科目		地域・学際系科目、自然科学系科目		地域・学際系科目、自然科学系科目		地域・学際系科目、自然科学系科目	

卒業(就職)まで、学位取得

※半期の修得単位数上限は24単位
※卒業要件単位には含むことはできない

地域資源創成学部の養成する人材像



企業マネジメントコース

国内外の産業経済構造を俯瞰的に捉え、地域の社会経済状況を調査・分析し、その知見をもって、国内市場や海外市場の開拓やリネージュ構築、企業誘致、起業等、地域経済の発展に向け、既存の産業に新たな価値創造(イノベーション)を引き起こし、地域の産業振興に寄与する次世代のビジネスリーダーを養成する。

地域産業創出コース

地域資源(農業・自然・文化等)の価値を理解し、地域資源を活用した新商品の企画、ビジネスの新展開、様々な切り口からの地域資源の魅力発信等を通じて地域資源に新たな価値を見出し、6次産業化や観光等の地域の産業創出につなげることができる人材を養成する。

地域創造コース

中山間地域における過疎・高齢化、中心市街地衰退等の課題解決や、地域社会の維持発展に向けて、地域における住民の組織やネットワーク、行政制度等について理解するとともに、地方都市・農山村の経済機能、社会機能、環境機能を総合的に捉え、地域活動を有機的に連結し、活性化できる持続可能な地域づくりをトータルマネジメントできる人材を養成する。

未来につながる地域をつくらう!

地域資源創成学部では、地域が抱える諸課題を認識し、地域産業の活性化と地域振興を企画・実践できる素養を身につけた人材の育成を目的としています。

観光・地域経済・産業政策研究室では、地域資源の活用を意識した観光・地域経済の再生における、人々の行動や言語等のビッグデータを用いた研究を進めています。地域を様々な角度から可視化すると、改めて地域は可能性や魅力に満ちていることに気づかされます。本学部では、マネジメントをはじめ社会科学系、理系分野を幅広く学び、多様な学びから柔軟な思考力を育てます。さらには、学外での実践活動を通して、地域課題解決に向けた本質的な理解を重ねます。ぜひ、本学部の学びを通し、未来につながる大切な地域を創りましょう。



地域資源創成学科

教授 杉山 智行 Tomoyuki Sugiyama

宮崎大学のひと



異分野融合研究に触れて、 複眼的な視野を獲得しよう。

宮崎県の高千穂郷・椎葉山地域(高千穂町、五ヶ瀬町、日之影町、諸塚村、椎葉村)は、FAO(国連食糧農業機関)によって、世界農業遺産に認定されています。この地域に暮らす人びとの農林業を中心とした営みが世界的に価値がある、と認められたわけですが、「価値がある」とはどういうことでしょうか?

この問いに答えるためには、複眼的なものの見方が必要になってきます。少しでも具体的にいうと、この地域の価値を評価するために『人』と『自然』の関係を読み解いていく必要があります、それは一つの視点からのアプローチではなしえません。

現在、地域資源創成学部の教員を含む異なる分野の研究者などで

研究グループをつくって、この地域の実態を調査・研究しています。異分野融合の研究は、地域資源創成学部での教育にも反映されており、地域資源の「理解」や「活用」に必要な複眼的な視野を養うのに、大いに役立つことでしょう。



高千穂郷・椎葉山地域の風景

卒業後の進路

地方公務員(県庁、市町村役場)、国家公務員、IT業界、放送局、運輸業(航空業界、高速道路等)、電気・ガス・水道業、卸・小売業、製造業(食品・飲料、繊維、化学工業、自動車部品等)、団体職員、生活関連サービス業、大学職員、教育・学習支援業、金融業、不動産業、複合サービス業、専門技術サービス業(士業、コンサルタント業等)、建設業、進学など

大学院

Graduate School

宮崎大学大学院では、各学部・学科・課程で学んだ知識をさらに高め、専門的な職業に従事するために必要な能力や学識を養います。また充実した教育・研究環境を整えることで、学生の研究活動を支援しています。

教育学研究科

高度な指導力を養い、教育現場で幅広く活躍できる指導者へ

【専攻】 教職実践開発専攻(専門職学位課程)(教職大学院)

- 教職実践高度化コース
- 教科領域指導力高度化コース
- 特別支援教育コース



教育学研究科教職実践開発専攻(教職大学院)では、学部における専門教育又は教職経験の基礎の上に、確かな教育観と幅広い視野を持ち、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員養成のための教育を行います。

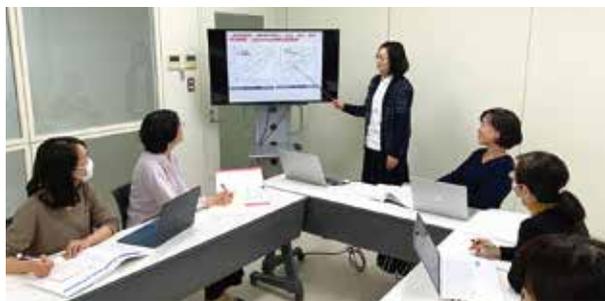
教職実践高度化コースでは、「教育行政・学校経営分野」、「生徒指導・教育相談分野」、「教育課程・授業研究分野」の3分野から選択し、各分野に関する教育理論を学修します。教科領域指導力高度化コースでは、指導力の改善・検証のみならず、学校現場をフィールドとした実地的・実践的な学びを通じた教科領域の教育に関する指導力の高度化を目指します。特別支援教育コースでは、「特別支援学校教員の専門的指導力の向上」を目指して、医療、福祉等の外部専門家と連携しながら、医学や科学技術の進歩に対応した指導法や指導技術の習得、研究を推進することが可能となるような授業科目、実習科目でカリキュラムが設計されています。

看護学研究科

人々の健康と保健医療福祉の向上に貢献する

【専攻】 看護学専攻

- 研究者育成コース
- 実践看護者育成コース



少子高齢多死社会を迎え、医療は「治す」から「予防し、治し、支える」への転換が図られています。それに伴い、看護職の活躍の場も医療現場だけではなく、地域の保健医療福祉分野など多岐に渡ってきました。さまざまな領域で看護職が専門職としてさらに活躍していくためには、効果的・革新的な看護実践は不可欠です。

看護学研究科では、そのために必要となる研究能力とともに高度な看護実践能力を培う教育を行います。

①「研究者育成コース」では、看護学の教育者・研究者としての基礎となる能力の育成を行い、次世代までも視野に入れた看護学に貢献できる人材を養成します。②「実践看護者育成コース」では、批判的思考力と高度な問題解決能力を有し、国際的視野を持ちながら、地域特性に対応した看護実践者の育成を行います。

農学工学総合研究科

農学と工学が融合・深化した博士後期課程で最先端の研究を！

農学工学総合研究科は、農学と工学の学問的背景と連携協力の実績を踏まえて、それらが連携・融合した教育研究領域の深化を図ることにより、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。このため、研究科では3専攻を設け、①低環境負荷・持続型生産システムの構築と持続型地域社会が必要とする社会基盤の保全、②動植物・微生物の機能を活かした新規機能性食品の開発と地域バイオマス資源の有用物質への変換、そして③ナノテクノロジーを応用した機能性材料の創生と自然共生型エネルギーの活用とその変換技術、省エネルギー化・高度情報化された生産技術の開発と高度なソフトウェアを活用した情報処理システムの構築等に関わる教育研究を通じて21世紀の喫緊の課題を解決し社会に貢献します。

【専攻】 資源環境科学専攻

- 環境共生科学教育コース
- 持続生産科学教育コース

生物機能応用科学専攻

- 生命機能科学教育コース
- 水域生物科学教育コース

物質・情報工学専攻

- 新材料エネルギー工学教育コース
- 生産工学教育コース
- 数理情報工学教育コース





工学研究科

自然豊かな宮崎で未来を切り開く技術者・研究者に



【専攻】 工学専攻

- 環境系コース
- エネルギー系コース
- 機械・情報系コース

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる知識基盤社会の時代と言われています。この知識基盤社会においては、個人の人格形成の上でも、社会の発展・振興の上でも、大学院は極めて重要な役割を果たしています。工学研究科は、学部教育を基盤として、高度化、深化した専門知識・技術を身に付け、さらに隣接する関連領域まで俯瞰できる総合的視野を持った想像力豊かな高度専門技術者を養成することを目的としています。この目的を達成するため、1専攻化して3つのコース（環境系、エネルギー系、機械・情報系）を設け、コミュニケーション能力やマネジメント能力の向上を目的とした専攻共通科目やコース必修科目を提供するとともに、専攻内の専攻選択科目を自由に受講できるようにしています。

農学研究科

専門性の深化と
国際性豊かな高度専門人材の育成を目指して



【専攻】 農学専攻(修士課程)

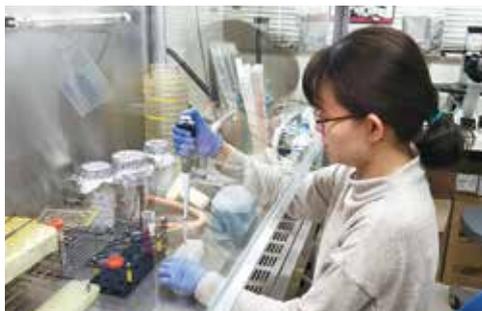
- 植物生産環境科学コース
- 森林緑地環境科学コース
- 応用生物科学コース
- 海洋生物環境科学コース
- 畜産草地科学コース
- 農学国際コース

農学研究科は1専攻6コースから構成されており、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源及び生命に関する問題点を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際性豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指します。

また、コースのカリキュラムを原則、全て英語で実施する「農学国際コース」を設け、農学専攻(一専攻)の特色を活かし、国際的に、特にASEAN諸国で重要視されている問題点に対応して、分野横断型課題探求・問題解決型の3つの実践プログラムを提供しています。

医学獣医学総合研究科

医学と獣医学が完全に融合した全国唯一の修士・博士研究科



【専攻】 修士課程: 医科学獣医学専攻

博士課程: 医学獣医学専攻

医学獣医学総合研究科は、国内ではじめて医学と獣医学が融合・連携した研究科です。研究科には、修士課程及び博士課程を設置しています。修士課程では、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携わる人材の養成を主眼とし、専門分野に偏らない幅広い基盤的知識の習得、それを基礎とした研究能力を養うことを目的とし、生命科学の発展と社会の福祉向上に寄与することを使命としています。博士課程では、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。

地域資源創成学研究科

持続可能な地域社会を創造する高度専門人材へ



【専攻】 地域資源創成学専攻(修士課程)

地域資源創成学研究科は、地域社会の未来を構想し、地域課題解決のソリューション、イノベーションを研究する異分野融合・複合型の大学院です。地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値を創出することを目指します。こうした価値創出を通じて、人口減少社会等の今後の社会経済環境の変化に対応可能な、強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度人材の育成を図り、実践研究による成果を基に実際の社会に適用できる社会実装を目指します。

卒業生からのメッセージ

OB・OG Message

それぞれの夢に向かって、
努力し道を切り拓いてきた
先輩たちから、
夢を追うみなさんに向けた
応援メッセージです。



熊本県農林水産部
生産経営局農業技術課 技師

山口紗知さん Sachi Yamaguchi
熊本県 熊本高校出身



大学で見つけた自分の将来像

私は今、熊本県庁で農学職の職員として働いています。
農学部へ進学した理由は「生物がすき、食べ物がすき」という漠然とした理由でした。しかし、授業の中で基礎的な知識だけでなく、専門的な知識や実践的な技術を学ぶうちに「この得意分野で社会に貢献したい」という気持ちが強くなり、地元熊本県の農学職員を志望しました。

大学での経験は、今の仕事へ導いてくれただけでなく、栽培技術を学び農業を体験できたことで、農家さんと関わる際にとっても役立っています。大学でできた友達とは、他県の農業について情報交換をする今でも仲の良い関係です。

皆さんも大学でいろんな経験を積んだり、いろんな人と交流したり、様々なことに挑戦してみてください。きっと自分のやりたいことが見つかるはずです！



宮崎県 環境森林部
環境森林課 環境計画担当 主事

山田誠士さん Seiji Yamada
宮崎県 宮崎大宮高校出身



すべてが「自身の学び」につながる

私は現在、宮崎県環境森林課で環境教育やゼロカーボン社会づくりの情報発信の担当として働いています。宮崎大学地域資源創成学部を卒業し、県外の大学院を修了後に、大好きな故郷に恩返しができる仕事ができ、楽しく懸命な日々でも充実しています。

宮崎大学在学中は、「地域資源創成」という複雑で困難なテーマを前に、経験豊富な先生方と素晴らしい仲間たちとともに、座学のみならず、議論や国内外でのフィールドワークといった活動を通じて、地域の課題や解決策を考えました。振り返ると、この過程で専門知識だけではなく自分自身の人生を豊かに過ごすためのヒントを得ることができたと思います。

一見遠回りに見えることも、無駄なことなんて一つもありません。全て吸収してみてください。その中で得たものは必ず将来を切り開く力になるはずです。心から応援しています。



 国富町立本庄小学校
教諭

富 清香 さん Sayaka Tomi
宮崎県 宮崎西高校出身

子どもと一緒に学び続ける

私は今、小学校で1年生の担任として働いています。時に素直な子どもの反応に驚き、時に保護者の方からの一言にやりがいを感じる毎日です。

大学卒業時に恩師から、「子どもは教師の鏡である」という言葉をいただきました。本当にその通りで、現場では、子どもが私の声かけで、できないことができるようになる、子どもの成長する姿を身近で見ることができます。

大学では、日々の授業や実習を通して、同じく教員を目指す仲間たちと切磋琢磨しながら充実した日々を送ることができました。何より心に残っているのは、教育実習です。大学で学んだ知識を現場で実践できた経験が、今でも私の根底であり、役立っています。

高校生の皆さんも、大学でたくさんの経験を積み、自分の夢に向かって学び続けてくださいね。



 宮崎大学医学部附属病院
整形外科 医師

飯田 暁人 さん Akito Iida
神奈川県 湘南高校出身

新しい環境で新たな出会いと経験を

私は2021年に宮崎大学を卒業し、初期研修で地元の神奈川県に戻りましたが、縁もあって現在は宮崎で整形外科医として働いています。

宮崎大学は、充実した講義は勿論のこと、留学や研究への支援もあり、一人ひとりの希望に沿った大学生活を送れる大学だと思います。私自身も、同級生と協力し実習や試験勉強をした思い出や、部活動を通して沢山の先輩や後輩との出会いがあり、充実した日々を過ごすことができました。

温暖な気候と豊かな自然、美味しい料理がある宮崎で、皆さんが様々な経験をして、将来に向けて成長できることを応援しています。



 住友大阪セメント セメント・コンクリート研究所
セメント化学研究グループ

田 淵 亮 丞 さん Ryosuke Tabuchi
長崎県 諫早高校出身

様々な経験を積む時間!!

私は現在、住友大阪セメント(株)の研究所で研究開発を行っています。主にCO₂固定化技術の研究やセメントの原燃料である廃棄物の受入増量に向けた研究を行っています。

宮崎大学では幅広い分野の基礎的なことから専門的なことまで学ぶことができます。また、座学だけではなく実験をする機会も多くあります。研究室に配属されるからは自分の興味がある分野をより専門的に学ぶことができ、技術者を目指すものとして貴重な時間を過ごせました。また、大学生活ではたくさんの人たちと出会い、さまざまな経験ができました。皆さんも大学に入学したらよく学び、よく遊び、いろんな経験を身に付けながら、学生生活を謳歌してください。



キャンパスマップ

宮崎大学には、学生のみさんの可能性を広げる2つのキャンパスがあります。

木花キャンパスには教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部が、清武キャンパスには医学部があり、キャンパス間での交流も盛んです。



木花キャンパス

〒889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

農学部

- 1 実験研究棟(北)
- 2 講義棟
- 3 実験研究棟(南)
- 4 実験研究棟(獣医)
- 5 附属動物病院
- 6 附属農業博物館
- 7 標本植物温室
- 8 附属フィールド科学教育研究センター

教育学部

- 9 講義棟
- 10 実験研究棟
- 11 美術棟
- 12 技術・家庭棟
- 13 音楽棟
- 14 附属教育協働開発センター

地域資源創成学部

- 15 講義棟
- 16 実験研究棟

工学部

- 17 実験研究棟(A棟)
- 18 講義棟(B棟)
- 19 実験研究棟(C棟)
- 20 機械実習工場
- 21 機械工学実験実習棟
- 22 高電圧実験棟
- 23 土木工学実験実習棟
- 24 実験研究棟(E棟)
- 25 電気機器実験棟

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム

- A ビームダウン式太陽集光装置
- B 工学部実験研究棟屋上
- C 産学・地域連携センター(機器分析支援施設)壁面
- D 附属図書館屋上
- E 国際交流宿舎屋上
- F 集光型太陽光発電システム(NSCエネルギースクエア)(体育館北側)
- G 教育学部技術・家庭棟屋上
- H 教育学部実験研究棟屋上
- I 農学部実験研究棟(北)屋上
- J 農学部講義棟屋上

自然科学野外観察教材開発プロジェクト

- K 木花キャンパスの地質の全体像
- L 下末吉海進期以降の段丘堆積物
- M 宮崎層群の砂岩泥岩互層
- N ナンバンギセル(ハマウツボ科)
- O 照葉樹林

- 26 福祉施設棟(国際連携機構、学生食堂、インフォメーションコーナー)
- 27 附属図書館(本館)
- 28 創立330記念交流会館
- 29 地域デザイン棟
- 30 事務局棟(1F入試課)
- 31 安全衛生保健センター、障がい学生支援室
- 32 情報基盤センター
- 33 フロンティア科学総合研究センター(RI木花分室)
- 34 研究・産学地域連携推進施設(研究・産学地域連携推進機構)

- 35 創造プロジェクト棟
- 36 イスラム文化研究交流棟
- 37 研究・基盤支援施設(研究・産学地域連携推進機構)
- 38 フロンティア科学総合研究センター(遺伝資源分野)
- 39 総合研究棟
- 40 産業動物教育研究センター
- 41 国際交流宿舎
- 42 女子寄宿舍
- 43 男子寄宿舍
- 44 木花ドミトリー

2023年4月1日現在



清武キャンパス

〒889-1692
宮崎県宮崎市清武町木原
5200番地

一般駐車場	身障者用駐車場	身障者用駐車場 (屋根あり)
売店	食堂・カフェ	カフェ
公衆電話	タクシー乗降場	ATM
教職員・学生駐車場	バス停 (宮崎大学)	

医学部

- ① 講義実習棟
- ② 総合教育研究棟
- ③ 福利施設
- ④ 基礎臨床研究棟
- ⑤ 附属図書館(医学分館)
- ⑥ 附属病院
- ⑦ 管理棟
- ⑧ フロンティア科学総合研究センター(RI清武分室)
- ⑨ フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野)
- ⑩ 外来診療棟
- ⑪ ヘリポート(2カ所)
- ⑫ 看護師宿舎・清武ドミトリー
- ⑬ 宮崎大学医学部附属病院患者付添者等宿泊施設「宮崎ドライビングスクールpresents THE CROSS ROADS」
- ⑭ 多用途型トリアージ施設

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム

- 医学部基礎臨床研究棟屋上
- 附属病院屋上

2023年4月1日現在

施設位置図

- ① 宮崎大学(木花キャンパス)
- ② 宮崎大学医学部(清武キャンパス)
- ③ 住吉フィールド(牧場)
- ④ 田野フィールド(演習林)
- ⑤ 農学部附属フィールド(大納地区)
- ⑥ // (崎田地区)
- ⑦ 延岡フィールド(水産実験所)
- ⑧ 附属小学校・附属中学校
- ⑨ 附属幼稚園
- ⑩ まちなかキャンパス
- ⑪ 日南デスク



交通アクセス

宮崎までの交通アクセス

■航空機

東京 — 宮崎 (1時間45分)
 名古屋 — 宮崎 (80分)
 大阪 — 宮崎 (70分)
 福岡 — 宮崎 (40分)
 沖縄 — 宮崎 (80分)

■JR(特急)

博多 — 宮崎 (3時間45分)
 小倉 — 宮崎 (4時間)
 熊本 — 宮崎 (3時間)
 大分 — 宮崎 (3時間)
 鹿児島 — 宮崎 (2時間10分)

■高速バス

福岡 — 宮崎 (4時間)
 熊本 — 宮崎 (3時間)
 鹿児島 — 宮崎 (2時間30分)

宮崎大学までの交通機関

(JR南宮崎駅近く)

宮交シティバスセンター → 宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約25分

宮交バス 宮崎駅 → 「宮崎大学・大学病院行」に乗車
 → 木花方面経由 → 約40分
 → まなび野方面経由 → 約37分
 → 清武方面経由 → 約43分

宮交バス 宮崎港 → 「宮交シティ行」 → 約30分 → 宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約25分

JR清武駅 (徒歩2分)JR清武駅前バス停 (徒歩5分)清武総合支所前バス停 → 宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約15分

※バスで清武キャンパスへ向かう際は、『大学病院前』で下車してください。

タクシー 宮崎空港 → 宮崎大学まで約8km → 約15分

宮崎自動車道・東九州自動車道 → 清武インターチェンジから → 約15分



※バスで清武キャンパスへ向かう際は、『大学病院前』で下車してください。

各種問い合わせ先

【木花キャンパス】教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部
 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 TEL:0985-58-7111(番号案内)

【清武キャンパス】医学部
 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地
 TEL:0985-85-1510(代表)

問い合わせ内容	問い合わせ先	電話番号
教育学部について	教育学部 教務・学生支援係	0985-58-2891
医学部について	医学部 医療人育成課 入試係	0985-85-8970
工学部について	工学部 教務・学生支援係	0985-58-2874
農学部について	農学部 教務・学生支援係	0985-58-3834
地域資源創成学部について	地域資源創成学部 教務・学生支援係	0985-58-7847
入学手続きについて	機構事務部 総務係	0985-58-7427
授業料納入について	財務課 出納係	0985-58-7122
授業料免除について	学生支援課 経済支援係	0985-58-7976
奨学金について	学生支援課 経済支援係	0985-58-7976
学生寄宿舎について	学生支援課 学生支援係	0985-58-7142

宮崎大学の
入試に関する
お問い合わせ

宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課 TEL.0985-58-7138
 FAX.0985-58-2865 E-mail:nyushi-t@of.miyazaki-u.ac.jp
 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地



宮崎大学ホームページ

大学の最新情報をパソコン・スマートフォンで閲覧できます。
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



宮崎大学公式You Tube [Myaoh.TV]

宮崎大学オリジナル動画を多数配信しています。
<https://www.youtube.com/user/MyaohTV>



国立大学法人 宮崎大学

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 [編集発行] 宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課
 令和5年6月発行